

合ひが近い將來に於て不可避的である。それ故昨年、國民黨の補助組織及び表面上國民黨反對の氣運を示した黨及びグループの崩壊の年であつた。蔣介石の刑吏が鄧演達を銃殺した後、所謂「第三黨」又は所謂「社會民主黨」は決定的に自己清算した。トロツキスト・陳獨秀派のグループは、陳獨秀、彭述之其の他の者が逮捕された自己の反革命的體格が法廷に於て暴露された後、全くグループとして崩壊した。所謂青年支那國民黨の激烈な崩壊は疑ひなき事實である（例へば北平に於ては、此の黨の一千人以上の黨員が一度に脱黨に關する共同の公式聲明を行つた）。反革命的な羅章龍のグループは既に公然と南京、上海及び北方の保安警察に於て活動してゐる。

此處で、反革命的陣營に於て起りつゝある一つの新しいモメント——支那に於ける独自のファシスト運動の開始を指摘しなければならぬ。其處では勿論問題の本質は、共產黨及び革命運動に對するファシスト的方法の國民黨に依る適用、又は民族的及び社會的デマゴギーの國民黨に依る普及にあるのではない。總て是等は國民黨が革命戦線から脱出して以來今日に至るまで國民黨に依つて依然として廣汎に實行せられて來た。

手先を通じて、帝國主義戦争の一層立派な準備と遂行の目的を以て小ブルジョアジーの一部の間に何等かの社會的基礎を作らうとする試みであり（此の故に種々の國民黨及び非國民黨グループは相互にファシズムを以て非難すると同時に、各々が愈々益々ファシスト的方法及び標語を採用し且愈々益々明瞭に自己の帝國主義的主人の擁護に進出しつゝある）、第三に、革命勢力の成長と反革命勢力の崩壊である。それ故支那に於ける独自のファシスト運動の目的は各人にとつて明瞭である。即ち階級落伍者の及び小ブルジョアの要素——支那の諸都市に於ける其の大多數は、彼等の祖國に對する日本其の他の帝國主義の不斷の侵害の故に、貧窮にして餓死的な生活の故に、絶望に陥つてゐる——を獲得して、國民黨に對する彼等の憎惡を共產黨への不満へ、而して帝國主義への憤怒をソヴェト聯邦への憎惡に轉化しやうとしてゐることが、問題なのである。帝國主義と國民黨とは是等の要素を先づ第一にソヴェト革命や、一切の進歩的な運動に對する闘争道具として、また、反革命的陣營内部に於て相互に對する闘争道具として利用しやうと欲してゐる（例へば死刑を宣告せられた人物が記入せられてゐる蔣介石のテ

新しい點は、第一に、過ぐる一年間にファシズムの問題が、蔣介石の「藍衣社」の機關紙であり且ファシスト思想の普及を目的とした特殊な五、六種の新聞及び雑誌に於て廣く討議せられたのみならず、またファシズムの敵や味方の殆ど一切の新聞で討議せられたこと、第二に、近時公然と國民社會主義者の黨と自稱する國民黨的、蔣介石派のテロリスト組織「藍衣社」が形成せられると共に、他の反動的な黨及びグループ（胡漢民のグループ其の他の如き）が、「ファシズムに反對し民主主義を擁護する闘争」の形で既に蔣介石に對して闘争を行つてゐること、第三に、蔣介石及び其の他の者が近時自己の舊い軍事的幹部を自己の影響下に維持せんとし且新しい信頼し得る軍事的幹部を作らんとし、而してまた軍隊、労働者、農民及びインテリゲンツィアの間にて、既に三民主義の旗の下にといふよりも寧ろ「ヒットラー主義」の標語の下に、自己の影響を擴大しやうと極力試みてゐることである。

支那に於ける此の独自のファシスト運動の主要な源泉は、總ての人々にとつて明かである。是は第一に、國際ファシズム、特にドイツ・ファシズムの影響であり、第二に、種々の國の帝國主義者が支那に於ける自己の

ロリスト組織「藍衣社」の名簿には、我が黨の首領と並んで有名な作家、編輯者及びそれと共に反蔣介石軍閥及び政治家が含まれてゐる。

ドイツ・ファシズムも、イタリー・ファシズムも、其の他のファシズムも、「ファシズムに反對して民主主義を擁護する闘争」の爲のドイツ、ポーランド其の他の國々の社會ファシストの策動も、死滅しつゝあるドイツ、イタリー及び世界の資本主義の運命を救済し得ないことが、我々にとつて何等の疑ひもなく明かであると同様に、三民主義も、蔣介石の独自の新しいヒットラー主義も、所謂「勞農黨」に於ける胡漢民の假裝反ファシストの策動等も、支那及び世界の全發展史に於て既に斷罪せられた支那に於ける帝國主義、地主及びブルジョアジーの支配を破滅から救済し得ないことは、總ての人々にとつて更に一層明瞭である。

然しながら、若干の共產主義者が屢々繰返してゐるやうに、是を基礎にして、支那に於ける独自のファシスト運動が共產黨にとつて何等の意義を有しないといふ結論を決してなすべきではない。共產黨と革命にとつてのファシスト運動の危険性は、それが革命家に對する更に一層組織的な虐殺的行動に導き得ることのみ

にあるのではなくて、民族主義的デマゴギーが今日の支那の條件の下に於ては小ブルジョア階級の一定の部分を把握し得ることもある。都市小ブルジョア階級の間に於ける我が黨の活動が近年決定的に弱まつたことに鑑みて、此の危険性は特に現實的である。

蔣介石の一切のファシスト的策動と方法との、あらゆる方法に依る時宜を得た暴露は、我が黨の最も緊急な任務の一つである。

總て上述した處に依つて、支那に於て革命と戦争と干渉とが、同時に行はれてゐることが明瞭である。支那に於ける事件の今後の發展が、革命と戦争の第二の局面への移行を完成するであらう、といふことは全くあり得る。支那に於けるソヴェト革命の決定的な勝利が、太平洋に於ける帝國主義戦争と東方からのソヴェト聯邦に對する帝國主義者の戦争を豫防するか、或は帝國主義戦争、而して先づ第一に、ソヴェト聯邦に對する日本其の他の帝國主義者の反革命戦争が支那ソヴェト革命の決定的勝利より前に勃發するか、——孰れにもせよ、支那に於けるソヴェト革命の決定的勝利に依つて極東に於ける戦争の危険を克服

する爲の闘争は、中國共產黨の當面の目的であり、基本的且大なる任務である。諸々の國際的事件及び支那事件の發展は支那革命の意義及び地位を、世界共產主義の勝利の爲の萬國のプロレタリアの闘争に於ける第一位の原則的高さに高めた！支那革命はソヴェト聯邦に次いで世界革命の第二の決定的要因となつた。

一 中國共產黨は支那革命の唯一の指導者である

支那に於ける事件の今後の發展は如何なる方向に進むであらうか？第一に是は共產黨——支那革命の此の唯一の指導者——の政策、戦術、活動及び闘争如何にかゝつてゐる。

昨年中國共產黨にとつて一層のポリシエヴィキイ化の年であつた、と我々は斷言し得る。此の期間にソヴェト的及び非ソヴェト的支那の革命運動に於て存在した一切の達成と成功は、先づ第一に、我が黨の正しい政治方針、戦闘能力を有する戦術、倦まざる活動と獻身的活動に依つて、我が中央委員會がレーニン主義的コミンテルンの一般方針を斷乎として實行した

ことに依つて、可能となつたのである。

A 過ぐる短い期間に於ける中國共產黨のより以上のポリシエヴィキイ化はどの點に具體的に現れてゐるか

a コミンテルンのレーニン主義的 一般方針への無條件の忠誠

ポリシエヴィキイ化は先づ第一に、中國共產黨が中央委員會を先頭にして、コミンテルン執行委員會の指導の下に、中央委員會第四回總會（一九三一年一月七日）に依つて作成せられ且決定せられた自己の一般的政治方針を斷乎として撓まず實行しつゝあり、而して目的への途上に於ける、ありとあらゆる困難及び混亂を恐れな

それと共に黨は、中央委員會を先頭にして此の正しい一般的政治方針を作成したに止まらず、是を基礎にして、各々の與へられた瞬間に於ける支那の革命運動の諸條件に最もよく照應する、政治的及び戰術的任務を具體的に作成し且前面へ押し出した。此の一般方針は、中央委員會第四回總會當時から滿洲事變（一九三一年九月十八日）及び中央ソヴェト政府の創設（一九三一年十一月七日）に至るまでは、次の二面的任務の中に具體化せられた。即ち一方では、赤軍の建設と強化、臨時中央ソヴェト政府の樹立と地域的基礎の強化、他方では、大衆的、革命的闘争、而して第一に國民黨的支那に於ける労働者の罷業闘争の廣汎な展開。滿洲事變（一九三一年九月）及び中央ソヴェト政府の樹立の後、我々の此の一般方針は、次の三位一體の標語の中に具體化せられ且公式化せられた。即ち（一）支那の保全、獨立及び統一の擁護の爲め、日本其の他の帝國主義に對する武装國民の民族革命戦争。（二）民族的裏切及び民族的恥辱の政府としての國民黨の顛覆は、民族革命戦争の完全な遂行の條件である。（三）支那のソヴェト政府及び紅軍のみが、日本其の他の帝國主義に對する民族革命戦争を徹底的に遂行且指導して、完全な民族解放

を達成することが出来る。

此の基本的標語の視角の下に黨は紅軍のより以上の強化、ソヴィエト地區の發展及び反帝國主義的並に反國民黨的な革命的、大衆的闘争の廣汎な展開の任務を自ら提起した。コミンテルン執行委員會第十二回總會に依つて中國共產黨の前に提起せられた六つの任務は、事實上前記の諸任務をより以上具體化し定式化したものであつた。

我々の一般的政治方針及びそれから生ずる各々の當該瞬間に於ける具體的諸任務の遂行の途上に於て、黨は極めて大なる困難と混亂に遭遇したし、又遭遇してゐる。此のことは特に最近二年間に生じた。國民黨の大規模な第五次反ソヴィエト遠征及び、是に次いで更に一層大がりの第六次遠征と中華ソヴィエト共和國に對する帝國主義者達の一層公然の武力干渉は、我々の困難及び混亂を既に充分物語つてゐる。

然し黨は中央委員會を先頭にして、是等の困難と混亂を恐れないで、自己の一般的政治方針——レーニン主義的コミンテルンの方針を斷乎として堅持し且實行してゐる。此の事情は成功の主要な原因たるのみならず、また黨と其の指導との一層のポリシヰヴィキヤ化を

條件づけるのである。

此のことは、我が黨の如き黨にとつては特に重要である。中央委員會第四回總會（一九三一年一月）以前の我が黨の歴史に於て、指導部の一部はコミンテルンの一般方針を實行する代りに此の方針を歪曲し、修正し、是から偏向した場合が稀でなく、是が爲にそれ自身右翼的又は「左翼的」な日和見主義的泥沼に陥り（例へば、一九二七年の武漢時代に於ける陳獨秀主義、一九二七年末及び一九二八年初めに於ける瞿秋白の一揆主義、一九三〇年夏及び秋の李立三コース）、是が黨及び革命に少からざる害毒を齎した。

今や現在の指導の實踐に基いて各黨員、労働者及び勤勞者は、愈々益々次のことを確認しつゝある。即ち「レーニン主義的コミンテルンの一般方針への百パーセントの無條件の忠誠」——黨中央委員會第四回總會に依つて提起された標語——が、黨のより以上のポリシヰヴィキヤ化とソヴィエト革命の勝利の唯一の道であり且保證である、と。

b 戰術的戰闘能力及び機動能力の強化
第二に、より以上のポリシヰヴィキヤ化は、我が黨が

中央委員會を先頭にして是等の基本的な戰術的任務及び標語の作成と提起とに止まらないで、それを基礎にして、我々の一般方針及び基本的な戰術的任務の遂行を容易ならしめ且確保するところの、具體的な、柔軟な、機動能力を有する戰術的方針を採用し且實行し得ることに現れてゐる。

過ぐる一年間に於ける斯る我々の戰術的方針を證明する好き實例として、次のことを利用すべきである。
一、大規模の反ソヴィエト遠征のソヴィエト權力に依る戰勝的擊退、紅軍のより以上の強化と擴大及びソヴィエト地區の發展と統一の領域に於て。私は初め既にソヴィエト支那に於ける我々の新しき大勝利に就て述べた。總ての諸君は、我々が此の勝利をたゞ黨の側からの正しい指導に依つてのみ達成したことを知つてゐる。昨年中ソヴィエト支那に於てより以上の勝利を獲得する爲に我が黨の中央委員會に依つて採用せられた一切の戰術的方針の中何れが最も重要であり、最も指標的であり且教訓的であるか？ 我々の意見に依れば、それは次の三つのモメントである。
即ち、ソヴィエト國家の形成、強化及び發展。而し

て此の問題に於て最も重要且困難なのは、經濟政策である。支那革命の發展の現段階に於ける中華ソヴィエト共和國の經濟政策は、ソヴィエトの形態に於けるプロレタリアートと農民階級との民主主義的獨裁の經濟政策、即ちブルジョア民主主義革命の任務の解決から支那の社會主義的發展行程に至る過渡期の經濟政策である。それと共に現在のソヴィエト地區の地域的分散性、經濟的立遅れ、及び多年に亘る間斷なき戰時狀態の結果、中華ソヴィエト共和國は自己の經濟政策の遂行に於て餘計な困難と混亂とに遭遇せざるを得ない。それ故、第一回全支ソヴィエト大會に於て經濟政策の基本的な法令及び原則的な規定が採用せられたにも拘らず、而も尙此の問題は總ての黨及びソヴィエトの活動家にとつて明瞭でなく、而して此のこと、關聯して、ソヴィエト地區に於て、多くの黨、ソヴィエト及び労働組合の活動家の間に、經濟問題に就て或は、右翼的な、或は「左翼的な」誤謬が暴露せられた。さればこそ黨中央委員會は理論的な點に於ても實際的な點に於ても經濟政策の問題を眞面目に研究した。中央委員會は黨全體に明瞭な理論的立場を與へて、此の瞬間に

於ける中華ソヴェト共和國の經濟政策の最初の觀念が、(一)此の現段階に於ける革命の性質、即ちブルジョア民主主義革命の性質に依つて、(二)ソヴェト共和國の現勢に依つて、即ち長期に亘る間斷なき内亂狀態、經濟的立遅れ及び現在の地域の分散性に依つて、(三)革命の見透しに依つて、即ち今後の非資本主義的發展行程の爲の闘争に依つて、決定せられなければならないことを指摘した。

此の理論的及び原則的立場に對して、中央委員會は經濟政策の實行に際し、農業、工業及び商業の活潑化、復興及び發展の意味で、而してまた地方に於けるありとあらゆる内の資源の利用の意味で、非常に多くの實際的補足と正確化を加へた。たゞ是に依つてのみ我々はソヴェト支那に於ける經濟狀態に於て積極的な結果を達成した。ソヴェト支那に於ける正しい經濟政策のみが、紅軍に對する供給、労働者及び農民の物質狀態の著しい改善を確保し、國民黨軍に對する勝利及びソヴェト權力の強化の爲の闘争に於ける紅軍の戦士及び廣汎な勤勞者大衆の驚くべき英雄主義、熱情及び献身を助長したのである。正しい經濟政策のみが、プロレタリアートのヘゲモニーの下に於ける労働

の新しい條件に適應した紅軍の再組織、種々の陸軍學校に於ける活動の改善と擴大(例へば或る中央士官學校に於ては、各々一千五百人宛の卒業が一年間に二回行はれた)及び最後に紅軍の正規部隊と、紅軍の戦線及び背後に於ける戰闘的活動に直接參加する一切の武装(バルチザン部隊、赤衛軍、青年衛兵、民兵等)及び非武装の戰闘的大衆組織(交通、運輸、偵察、醫療、衛生、牽制部隊其他の組織)との間の連絡の強化。ソヴェト支那に於ては我が黨の指導の下にあらゆる勤勞者が、婦女子をも含めて、自己の戰闘的地位に確乎として立つてゐる。國民黨の遠征に對する紅軍の闘争に於ける婦人の役割は甚大である。それは紅軍兵士に對する醫療、衛生、裁縫其他の援助に決して止まらないで、敵の軍隊との戰闘への直接的參加の中に現れてゐる。

其の生きた實例を擧げやう。「チャイナ・フォーラム」九月號と我が黨の機關紙に掲載せられた一九三三年八月三日附の四川の特別通信は、次の如く述べてゐる。「紅軍第四軍第四軍團の政治委員張琴秋(女)は、第四軍の基本的勢力が通江及び巴中から一時退却した時、クシバ村に於て三百人餘の負傷紅軍兵士及び隊長を護衛す

者階級と農民階級との鞏固な戰闘的同盟を——我々の勝利を齎す同盟を確保した。正しい經濟政策のみが、ソヴェト支那と非ソヴェト地方との間の原則的差異を明かに示し、それに依つて廣汎な勤勞者大衆、第一に大都市——上海、武漢、香港、廣東、厦門、福州、哈爾濱等に於ける労働者の共產黨、ソヴェト權力及び紅軍に對する同情と支持とを呼び起し、而して國民黨及び帝國主義者の干涉に對するソヴェト支那の擁護と、全國に於けるソヴェト革命の勝利の爲の闘争に彼等の戰闘能力を動員するのである。

紅軍のより以上の強化及び擴大と其の戰闘能力の強化。此の目的の達成の爲に黨は中央委員會を先頭に於て過ぐる期間に次の如き方策を實現した。即ち紅軍の戦士にとつての特惠的條件に關するソヴェト政府の指令の確實な遂行(先づ第一に彼等の土地の耕作に於ける社會的援助と彼等の家族への援助、彼等への無料の郵便及び運送奉仕等)、紅軍の隊伍の擴充の爲に勤勞者を動員する方法の改善、紅軍に於ける労働者的及び日傭人的構成立に共產主義的指導の強化、最良の共產主義者、共產青年同盟員、労働者、日傭人及び貧農より成る模範的及び突撃的師團及び軍團の創設、大戰闘

る爲に五百人の農婦より成る赤衛軍部隊を指揮した。軍閥田頌堯軍の一聯隊が山道を隔て、彼等に不意の攻撃を加へた。農婦等は張を先頭にして戰闘を開始した。右の聯隊長は、間近の山上に赤旗と頭に赤い布を巻いた農婦等を見て、命令を下した、「八百米前方に敵が現れた——撃て！」と。兵士等は一發も撃たなかつた。叫び聲が全山に鳴り響いた、「紅軍側への兄弟達——革命的兵士達——の移行を歓迎する」、「紅軍は日本との戦争に於ける前衛だ」等々。軍閥軍の此の聯隊長は再び命令した、「早く撃て！撃て！いつたら！」と。然し兵士等は又もや撃たなかつた。聯隊長は機關銃を持つた自己の護衛兵等と共に戦線の前線に走り出て、かう聲明した。「戦はない者は直に機關銃で撃たれるぞ」と。兵士等はさばめき始めた。彼等の一人が大聲で聯隊長に質問した。「私達は老兵で、既に十年間以上も戦つてゐます。然し私達は、私達が國家と國民の軍隊、武装守備隊でありながら、私達に對し實際に於て日本の帝國主義者と戦はないで、自國民を殺戮することのみを強制するといふことが、口々に叫ばれるやうな機會に一度も遭遇したことはありません。今貴下は我々に女子とさへも戦ふことを強制される、何といふ

不體裁！一體どうしたことです？」と。聯隊長は此の演説者を射殺した。此の後では忽ち混亂が始まつた。高い叫び聲が鳴り響いた。「反動的隊長達を殺せ！」「紅軍へ行かう！」と。數分間の後聯隊長及びすべての大隊長は兵士に捕縛せられた。農婦等は前進し、敵の全聯隊は武装解除せられた。五百人の農婦が白軍の全聯隊を武装解除したことが、今や全四川省に知られてゐる（喝采）。

青年及び共産青年同盟に就ては他の生きた實例を引用することが出来る。第四軍の政治委員陳昌浩（共産青年同盟員）は一九三二年の冬、蔣介石の部隊と衝突した際、捕虜の訊問中、彼等の隊には將軍や高級指揮官がゐないことを知つた。將軍や高級指揮官等は六十人の護衛兵と共に既に、前夜逃亡したことが訊問で判つた。陳昌浩は百人の騎兵に、時を移さず彼等を追跡するために彼と共に出發せよ、といふ命令を直に下した。二十四時間の追跡の後、陳は、蔣介石の最も忠實な子分であり支那でよく知られた將軍の一人なる趙恒惕及び總ての其の他の指揮官及び護衛兵等を生捕りにし、彼等を引連れて来て、我々の監獄に入れることが出来た。今や第四軍の赤軍兵士等は歌の一つに誇らかに

三九〇
に次の文句を加へた、「陳昌浩は趙恒惕を生捕つた英雄だ」（喝采）。

我が黨が紅軍に對する大衆的援助と協力を立派に組織したこと、國民黨に對し大衆が激しい憎惡を抱いてゐることは、蔣介石さへも公然と是を認めることを餘儀なくされた。日本の月刊雜誌「中央公論」の通信員との會談に於て（一九三三年六月）、彼はかう聲明した。

「地方住民の中では、何處に善良な分子が居り、何處に惡質の分子がゐるかを區別することが非常に困難だ。紅軍の正規部隊の外に、更にバルチザン部隊、所謂農民バルチザンがゐる。斯るバルチザン部隊は、共産軍が或る新しい地方を占領するや否や、地方農民を以て彼等に依つて強制的（?!）に創設せられたのである。客觀的必要に應じて是等の部隊は大衆と共にバルチザン戰爭を行ひ、以て遠征軍の背後で騷擾を惹起し、又は遠征部隊の補給に従事する部隊に不意の襲撃を行ふ。其の外に彼等は更に偵察したり、我々の兵士の間で騷擾を惹起したり、紅軍の正規部隊のゐる場所を隠蔽したりする爲に行動してゐる——一言を以て云へば、彼等は總て自己の能力に應じて行動し、相應の機能遂行してゐる。平時では彼等は田畑で働いてゐる

が、必要な瞬間には彼等は總て武装して、共産黨の援助の爲に行動する。されば政府軍は例外なく全部の市民に對して最大の慎重さを以て臨まざるを得ないのである。最近に於ける政府軍の數箇師の撃滅と戦線に於ける二人の騎兵大隊長の戦死は、正に此のバルチザン部隊と共産軍との協同行動に依つて惹起されたのである。而して良民とバルチザンとの間には何等の區別も立たないが故に、我が軍は自己の行動に於て、到る處に敵が隠れてゐると感ずることを餘儀なくされる。而して住民がまだ共産主義的活動に吸引せられなかつたやうな地方に於てさへ、軍隊はまた、一切の是等の良民を殺すことなくしては平穩はあり得ない、と感ずる。若し殺された者が總て眞にバルチザンであつたら、勿論いふことはない。然しバルチザンと非バルチザンとを區別することは非常に困難である。此の困難から遠征に於ける次の如き諸困難が生ずる——

（一）食糧の補給を調整し軍隊に奉仕する人員を求めるといふ補足的な要求を満たすことは、軍隊にとつて全く不可能であつた。

（二）匪賊地區と隣接する地方に於ける住民は、遠征軍に依る應殺を恐れて、益々紅軍の味方になり

つゝある」。

蔣介石の此の餘儀なくされた承認は非常に貴重である。それは蔣介石自身と彼の追隨者——トロツキストが紅軍と共産黨に對する鬭争に於て普及せしめた誹謗、即ち周知の如く、紅軍と共産主義者が「赤匪」及び「人民虐殺者」であるかの如く言ふ誹謗を決定的且完全に粉碎した。今や全世界の前に蔣介石自身が、ソヴエト地區及びそれに隣接する非ソヴエト地區に於ける平和的な住民の應殺が、蔣介石と彼の軍隊の仕事であつたし且現にさうであることを、公然と承認することを餘儀なくされたのである。

支那に於けるソヴエト革命の發展を促進する爲に、全ソ聯邦共産黨（ボリスニエヴィキ）の經驗とソヴエト聯邦に於ける社會主義建設の勝利とを適時に、而して組織的に利用すること。國民黨の第五次遠征に對する鬭争に於ける我が紅軍及び共産黨の成功の基本的な原因の一つは、ソヴエト聯邦に於ける第一次五箇年計畫の四箇年に於ける勝利的な完了とスターリンの報告に於ける其の結果の公表であつた。我が黨は全ソ聯邦共産黨（ボリスニエヴィキ）中央委員會及び

中央統制委員會一月總會に於けるスターリンの報告、特に其の直接支那問題に關する部分を廣く普及せしめた。例へば、スターリンが工業化の任務を後方へ退ける政策の有害さに就て、「工業化の任務を後方へ退けてゐたならば我々の状態は、自己の重工業を有せず、自己の軍需工業を有せず、列強が今や、よつてたかつて喩いてゐる現今の支那の状態に多かれ少かれ類似してゐたであらう(註一)」と率直に述べた箇所を。我々はスターリンの此の言葉とソヴェト聯邦に於ける第一次五箇年計畫の勝利の事實とを利用して、全支那及び世界に對して次のことを決定的に且斷乎として聲明した。即ち支那のボリシヰキと彼等に依つて指導せられる中華ソヴェト共和國のみが支那を重工業なく、軍需工業なく、防衛能力なき國、外敵の軍事行動の對象たる國から、自己の重工業及び軍需工業を有し、防衛能力あり、且外部からの攻撃を撃退し得る國へ轉化することが出来る。支那のボリシヰキと彼等に依つて指導せられる中華ソヴェト共和國のみが支那を經濟的に後進的な、政治的に隷屬的且植民地的な國から、經濟的に發展し、政治的に獨立自立する國に轉化することが出来る。支那のボリシヰキと彼等

に依つて指導せられる中華ソヴェト共和國のみが、支那を、慢性的且不斷に、年々洪水、饑饉、失業、阿片の販賣と吸煙、數百萬人の殺戮及び死滅が増大する國から、國民經濟が嵐の如く發展し、饑饉、失業が消滅し、國民的毒物——阿片が決定的に清算せられ、全國民的幸福が支配し、今日ソヴェト聯邦に於てボリシヰキ黨の指導の下に行はれてゐるやうに、無階級的社會主義社會が建設せられる國へ轉化することが出来る、と。此の煽動及び宣傳に依つて、中國共產黨、支那に於けるソヴェト權力及び紅軍の權威が比較し得ない程の原則の高さに高められたと同時に、最も廣汎な國民大衆の廣汎な連帶性、同情及び支持が獲得せられた。此の事實は、「五箇年計畫の國際革命的意義は眞に測り難いものがある」(註二)といふ世界プロレタリアートの指導者スターリンの指示を今一度實踐に依つて確認するのである。

(註一) スターリン、「第一次五箇年計畫の總結果」、一九三三年一月七日全ソ聯邦共產黨(ボリシヰキ)中央委員會及び中央統制委員會合同總會に於ける報告、二〇頁、黨出版部、一九三三年。
(註二) スターリン、「同上」、一三頁。

革命的競争と突撃活動等の廣汎な組織が、ソヴェト及び非ソヴェト支那に於ける我が黨及び大衆活動に於て、大なる刺戟と重大な積極的結果を與へたことは既に言ふ迄もないことである。ソヴェト聯邦に於ける第一回コルホーズ農民、突撃隊員大會の召集の後、我が黨が江西の八縣の貧農グループ突撃隊員の第一回大會を開催し、是に依つて我々が地主及び富農の殘存分子に對する闘争を擴大し、又紅軍の隊伍へ農民を動員する領域に於て大なる成功を達成したこと(大會は三箇月間に八萬人を紅軍に動員することを決議した等々)は、既に言ふ迄もないことである。我が黨が中央委員會を先頭にしてソヴェト支那に於て、特に近年になしたことは、既に巨大な世界史的意義を持つてゐる。我が黨は中央委員會を先頭にして、ソヴェト權力が世界的體制であるといふ、レーニン及びコミンテルンの理念の絶對的正しさを實踐に依つて證明した。それは、ソヴェト權力が、資本主義國に於ける革命の爲に役立つのみならず、植民地及び半植民地に於ける革命の爲にもまた役立つことを實踐に依つて證明した。それは、ソヴェトが、プロレタリ

アートの獨裁の唯一の形態であるのみならず、またプロレタリアートの獨裁への移行を保障するところの、プロレタリアートの指導の下に於ける労働者階級と農民階級との民主主義的獨裁の最良の形態であることを、實踐に依つて證明した。是と並んで我が黨は中央委員會を先頭にして、臨時革命政府、革命軍、及び革命の地域的基礎(初期には小規模であらうとも)の創設の巨大な役割及び意義に關するレーニンの理論的立場を實踐に依つて豊富ならしめた。我が黨がソヴェト革命の發展に於て有する經驗は、中國共產黨の極めて貴重な獲得物となつたのみならず、印度支那、印度、朝鮮、臺灣、キューバ及び全植民地世界の諸民族の爲に解放闘争に於ける教訓的な實例となつたのみならず、また一切の資本主義國に於ける共產主義者にとつて、第一に日本、スペイン等に於ける我々の同志にとつても、豊富な教訓となつた。

二、民族裏切の黨としての國民黨の暴露及び英雄的國防政府としての、ソヴェト政府の強化の領域に於て。日本に依る滿洲の軍事的占領——一九三一年九月——の瞬間から、帝國主義者の支那分割に對する武装

國防の問題は現代支那に於ける一切の政治問題の樞軸となつた。此の問題に於て勝利する者は支那に於ける情勢の主人となるであらう。此のことは我々のみならず、また我々の敵——蔣介石と國民黨も知つてゐる。それ故、國民黨は、自己の限りなき恥辱的な裏切及び日本其の他の帝國主義への降伏にも拘らず、常に且、到る處で種々の策動とデマゴギーとを以て、此の問題に就て我が黨と死物狂ひの闘争を行つたし又行つてゐる。我が黨は中央委員會を先頭として國民黨の策動とデマゴギーとを暴露し且我々の標語の正しさを大衆に説得することに成功したであらうか？然り、大體に於て成功した。

最近二年間に於ける戦線の此の分野に於ける我々の闘争を總決算するならば、其處には次の三期を確定することが出来る。

第一期——一九三一年九月の滿洲事變から一九三二年の初めの上海防衛の前夜まで。此の時期には國民黨のデマゴギー的標語は次の如きものであつた。即ち一方では、「南京政府は日本に宣戦する用意がある」、他方では、「日本に對する闘争に於ては國際聯盟及びアメ

リカからの公正な援助を靜かに待て」。

我が黨は中央委員會を先頭にして此の國民黨のデマゴギーを如何に暴露したか？此の國民黨の策動を暴露する爲に、我が黨は、日本其他の帝國主義に對する武装國民の民族戦争や、「滿洲及び全支那からの日本の侵略者の驅逐の爲に國民自身が武装する」といふ我々の基本的な戰術的標語の提起及び宣傳に止まらず、同盟罷業、集會、示威運動、抗日義勇軍部隊の廣汎な組織、武器の即時の交附及び抗日戦線への軍隊の派遣に關する大衆の要求を國民黨に宣言すること等の形で、廣汎な大衆の抗日運動を實際に組織した。總て是等のことの結果、蔣介石と國民黨は自己の行動に於て自己を暴露した（抗日的示威運動の際、上海、南京、廣東に於ける労働者、學生及び都市貧民の銃殺、一切の抗日大衆運動、否、日支戦争に關する論議すらもの公然の禁壓）。

第二期——上海防衛から一九三三年初めに於ける日本の上海港占領まで。此の時期には國民黨の基本的なデマゴギー的標語は次の如きものであつた。即ち「上海防衛の失敗は紅軍の破壊的行動に依つて惹起された」、それ故「日本及び共產主義者に對して同時に闘争

を行はなければならぬ」が、「外敵に對する成功的な闘争の爲には内敵（即ち共產主義者）を片附けなければならぬ」。

我が黨は國民黨の此のデマゴギーを如何に暴露したか？我が黨は中央委員會を先頭として非常に多くをなした。即ち上海防衛に於て英雄的な上海の労働者と第十九路軍の兵士に對して物質的及び道徳的援助が示されたが、其の際黨は名譽ある上海の民族的防衛の時期に於ける政治的及び軍事的行動に積極的に參加した。中華ソヴェト共和國のソヴェト政府は、一九三三年の初め日本帝國主義に宣戦したが、是と關聯して此の戦争の眞面目な準備への紅軍及び國民大衆の戰闘的動員を實行した。黨及びソヴェト政府は上海停戦協定及びリットン報告に對して公然進出し且大衆的抗議を組織した。黨は種々の抗日バルチザン部隊と統一民族革命戦線の戦術を作成し、抗日バルチザン戦争の廣汎な展開の爲に、是を滿洲及び熱河に於て實行した。黨は次の如き基礎的條件を基礎にして任意の軍隊及び戰闘部隊と作戦協定を締結する眞の希望と熱心な用意を有するといふ、國民宛及び一切の軍隊並に戰闘部隊宛のソヴェト政府及び中華ソヴェト共和國革命軍

事會議のメッセージの發表は、特殊な意義を持つてゐる。即ち（一）ソヴェト地區に對する攻撃の停止、（二）言論、出版、組織、同盟罷業等の自由を國民に與へること、（三）より以上の日本の上海港攻撃に關聯して、日本帝國主義に對する共同武装闘争の爲に抗日義勇兵を組織し、及び彼等を武装することの自由を國民に與へること。此の結果、蔣介石と國民黨は公然と自己の假面を脱いで、「今や共產主義者と赤匪とに對してのみ闘争を行はなければならぬ。今尙日本に對する抵抗を語る者は、最も嚴重に處罰しなければならぬ」といふ特別の命令を自己の軍隊及び國民に發表することを餘儀なくされた。是に依つて蔣介石と國民黨は廣汎な國民大衆の前に再び自己を暴露した。

第三期——蔣介石が日本に對する抵抗に關する論議を禁止する命令を發表してから（四月末及び五月初め）今日まで。蔣介石と國民黨は、支那及び支那國民の貧困と弱體との故に此の闘争は不可能であるといふ口實の下に、日本に對する一切の闘争を停止することを公然とアピールした。我が黨は蔣介石の此のデマゴギーを如何に暴露したか？我が黨は中央委員會を先頭に

して、蒋介石の此の公然の裏切的政策を自己の革命的
政策に明白に對置する爲に、大體次の如き行動を取つ
た。即ちソヴェト政府と革命軍事會議とは、抗日論議
の禁歴に關す。命令が蒋介石に依つて發表せられた後
二日、紅軍の正規部隊を一萬人に擴張し、一切の戰團
部隊及び國民大衆に向つて、蒋介石の禁止にも拘らず、
日本其の他の帝國主義に對する民族解放闘争の遂行の
爲に紅軍と共同して獨立的に進出すべきことを呼びか
けた處の、命令及びメッセージを紅軍及び國民に發表
した。黨は、抗日民族戦争を組織する爲の具體的綱領
であり、最も廣汎な國民大衆にとつて理解せられ且是
認せられ得る、最も簡單な、然し最も必要な要求であ
るところの、抗日的、革命的大衆組織に依つて提起せ
られた綱領的要求(例へば次の如き要求、即ち戦線及
び背後に於ける抗日闘争に参加する爲の國民の一般的
動員、抗日戦線に於ける陸、海、空軍力の一般的動員、
あらゆる造兵廠及び兵器庫から取られた武器及び外國
から購入せられた武器に依る國民の一般的武装、資材
の蒐集と補給の爲、戦争の組織と遂行の爲の具體的方
法——例へば一切の銀行、鐵道及び水上運輸、鑛山、
工場、並に支那に於ける日本帝國主義者の手にある商

品の沒收、支那側から日本への借款及び其の利子の支
拂停止、一切の民族的裏切者の財産の沒收等——及び
此の戦争に於ける國民的指導組織の設立等)を、斷乎
として積極的に力説し且支持した。それと共に我が黨
は、支那及び全世界に於ける現時の諸條件の下に於
て、武装國民に依る抗日民族戦争の組織及び遂行の可
能性のみならず、また其の勝利の可能性及び蓋然性を
もあらゆる方法で證明する爲に、民族革命戦争の革命
性、進歩性、現實性、及び勝利の可能性に關するマル
クス・レーニン主義の理論、並に十四の資本主義國の干
渉に對するロシアのポリシ、ヴィキ一の勝利的闘争の經
験、而してまた英雄的上海防衛、滿洲に於ける抗日バ
ルチザン戦争の經驗及び國民黨に帝國主義者の遠征
に對する紅軍の軍事行動の經驗を廣汎に普及せしめて
ゐる。

正に我が黨の斯る長期間の組織的且柔軟な理論的及
び實際的闘争に依つて、我が黨は中央委員會を先頭に
して蒋介石及び國民黨の政策及びデマゴギイを次第に
暴露し且、大衆に彼等自身の政治的經驗に基いて我が
黨の標語の正しさを納得せしめることに成功した。是
に依つて我が黨は、「國民黨權力の顛覆は日本其の他

の帝國主義に對する民族革命戦争の、成功的な遂行の
條件である」、また「支那のソヴェト政府と紅軍のみ
が、民族革命戦争の唯一の徹底的な戦士である」とい
ふ標語を、黨の標語から廣汎な國民大衆の標語へ一歩
一步轉化することに成功しつゝある。正に日本其の他
の帝國主義者に對する民族革命戦争を組織する爲の
我々の撓みなき闘争のお蔭で、滿洲、熱河、福建及び
全支那に於ける國民大衆は、我が黨、ソヴェト政府
及び紅軍の周圍に愈々益々結成し、而して帝國主義に
反對して國民の解放を求める聖戰を指導する能力を有
する自分自身の黨、政府及び軍隊を其處に見るのであ
る。

其の外に、此の基本的な戰術的達成と並んで、我が
黨は此の期間に、自己の大衆的活動に於て、而して先
づ第一に労働者の罷業闘争の組織、準備及び遂行に於
て、諸企業に於ける全労働者の統一戦線の樹立の爲の
闘争に於て、又黄色労働組合の中の活動に於て、其の
他の多くの戰術的成功を獲得した。正に此の事情こそ
赤色労働組合の中に於ける黨の活動や、また黄色労働
組合内の労働者間での活動に於ける急轉の開始を條件
づけたのである。

○ より以上の組織的強化と發展

第三に、中國共產黨のより以上のポリシ、ヴィキイ化
は、益々大なる組織的強化と發展との中に表現せられ
る。黨員數は此の一年間に三十萬人から四十一萬六百
人に増加し、而も此の増加はソヴェト支那に於ての
みならず、非ソヴェト支那に於ても行はれてゐる。昨
年我々は非ソヴェト支那に於て三萬人の黨員を持つ
てゐたが、其の中一萬五千人は、狂暴な白色テロルの
故に、黨と不斷の連絡を持つてゐなかつた。然るに本
年我々は六萬人を持ち、而して其中三萬人は常に黨
費を支拂ひ且不斷の黨活動を行つてゐる。黨はまた質
的な點に於て自己の構成を著しく改善した。労働者の
比率は過去に於ける平均一五—二〇%から現在の二五
—三〇%に高まつた。具體性と機動性と云ふ意味に於
ける、又諸企業に於ける細胞の活動とそれへの注意を
強化すると云ふ意味に於ける指導及び活動の方法は、
著しく改善せられた。多くの地方の黨及び大衆組織の
活動に於ける獨立性と創意性とが増進した。黨機關紙
の役割が高まり、其の質が改善せられ、ソヴェト支
那及び非ソヴェト支那に於ける其の發行部數が増加
した。新しい幹部が、特に労働者の中から拔擢せられ

た。黨の幹部の政治的及び理論的水準が、其の積極性と同様に向上し、二つの戦線に於ける無慈悲な闘争と單に理論に於けるのみならずまた實踐に於ける上から下までの廣汎な自己批判とが強化せられた——是が、我が黨のより以上の成長と強化とを物語る基本的事實である。最後に、今一つの極めて重要な事實がある。即ち帝國主義者、國民黨及び總ての彼等の手先並に我が黨内に於ける個々の日和見主義的要素の、中國共產黨と其の指導部に對する、特に中央委員會書記局と政治局に對する、あらゆるデマゴギー、誹謗及び陰謀にも拘らず、中國共產黨の分裂と崩壊に關する叫びにも拘らず、中國共產黨代表は此のコミンテルン執行委員會總會に於て、我が黨が今や其の十三年の存在の全歴史の間、未だ會て見なかつたほどに、自己のポリシエ、グ、キ、の中央委員會をめぐつて統一のあり、單一的であり、結束してゐることを、誇りを以て聲明する完全な根據を持つてゐる（喝采）。正に此の點に、過ぐる期間に於ける我が黨と革命との成功の基礎がある。中國共產黨は今や全ソ聯邦共產黨（ポリシエ、キ）に次いで世界に於ける第二の、ソヴェト國家を勝利的

其の他の活動家に對して、個々の労働者層の職場的及び經濟的利益を労働者階級の一般的、基本的、政治的利益に對置することの中に表現せられるところの、労働者階級の利益に對する彼等の、言葉の上では「左翼的な」、而して實際にはメンシエ、キ、的な立場に對して、闘争を行ふことを援助した。此の傾向は具體的には、個々の労働組合の役人が、ソヴェト地區に於ける軍事的及び經濟的情勢を考慮しないで、「ソヴェト地區に於ては階級闘争の形態は、國民黨支那に於ける其の形態と少しも區別せらるべきではない」といふ「左翼的」文句の隠蔽の下に、全く遂行せられ得ないのみならず往々有害でもある要求（例へば賃金を労働者にソヴェト紙幣でなく銀貨で支拂へといふ要求）を提出したことの中に現れた。同時に闘争は、軍事的並に困難な經濟的狀態を口實にして、ソヴェト地區の労働者の物質的地位の改善及び赤色労働組合に依る防衛的機能の遂行の任務を完全に否認することの中に表現せられたところの、他の正しからざる行動に對してもまた行はれた。土地問題に於ては、基本的農民大衆の願望及び要求にも拘らず、黨及びソヴェトの活動家の一部が土地の平等分配を承諾且支持しなかつたこ

に指導し且紅軍を指導しつゝある黨である！勿論此のことは、過ぐる期間に於て中國共產黨の個々の黨役員が種々の右翼的又は「左翼的」な日和見主義的誤謬を犯す機会がなかつたことを決して意味しない。斯くも複雑且困難な情勢の下に活動しつゝある我が黨の如き大衆的な、數十萬の黨員を有する黨に於て、活動家の隊伍に個々の誤謬が全く存在しないと思へば、それは奇蹟であらう。我々は總て、共產黨が中央委員會の指導の下に、此の期間常に、此の時期に於ける主要な危険性たる右翼的偏向に對して激烈な闘争を行つたし又行ひつゝあることを知つてゐる。而して此の右翼的偏向は、國民黨の遠征及びソヴェト革命に對する、來るべき公然の武装帝國主義的干渉と關聯して、黨の個々の環の悲觀論的氣分及び見解の中に表現せられたし又表現せられてゐるのである。

同時に共產黨は中央委員會の指導の下に、既に國民黨の第五次遠征當時それを「屍灰」と評價したところの、個々の指導的な黨員に於ける左傾的氣分に對して闘争を行つたし又行つてゐる。

中央委員會はソヴェト地區に於ける中央委員會中央局が、例へば労働問題に於て、個々の黨、労働組合

とに表現せられたところの、個々の新舊ソヴェト地區に於ける公然の右翼的偏向に對して、また既に基本的農民大衆の間に分配せられた土地の不斷の再分配（一年三、四回）に表現されたところの、他の極めて有害な一見左翼的な傾向に對して、闘争が行はれ、軍事問題に於ては、退却戰術を取り、又紅軍の正規部隊を細分さへして、それを個々の小バルチザン部隊たらしめるといふ不斷の提議の中に表現せられたところの、右翼的、狼狽的及び悲觀論的氣分——それは國民黨の遠征に依つて喚起されたものである——に對して行はれた。此の氣分はまた、地域的基礎の強化の可能性と必要性との完全な否認の中にも現れた。闘争はまた、一切的部分的、一時的、軍事戰術的退却（例へば敵の優勢な兵力との衝突又は不利な條件の下に於ける戰闘を回避する場合、或は時を待つて攻撃にとつて有利な瞬間を選ぶ爲に）の可能性と必要性との完全な否認の中に、紅軍の生きた力を維持することの第一義的意義と重要性との過小評價と無理解との中に、紅軍の大なる犠牲を拂つてさへも地域的基礎を強化すると云ふ任務の機械的な理解の中に表現せられたところの、「左翼的」冒險主義的傾向に對しても行はれた。

大衆活動の種々の部分に於て、黨組織の二つの戦線に於ける闘争を指導した。例へば、労働組合活動に於ては、獨立の組織と我が黨及び赤色労働組合側からの罷業闘争の指導、並に労働者の經濟闘争と政治闘争、先づ第一に抗目的、反帝國主義的闘争との連繋及び結合を不可能であると考へ、又は赤色労働組合のより以上の發展及び其の廣汎な大衆組織への轉化を信じ難いと考へる個々の黨及び労働組合の役員の右翼的傾向に對して闘争を行つたし又行つてゐる。同時に闘争はまた、資本家と帝國主義者に對する闘争に於て一切の労働者の統一戦線を樹立し且強化する必要を理解せざる事の中に、黄色労働組合の内部に於ける活動を強化し且革命的組合反對派グループを組織する必要を理解せざる事の中に、及び黨の基本的な政治綱領的要求と労働者大衆の部分的經濟闘争に於ける其の日常的要求とを機械的に一緒にし混同することの中に現れてゐる「左翼」分派主義に對しても行はれたし又行はれてゐる。

反帝國主義的な民族革命的活動に於ては、中央委員會は全國に於て、特に滿洲國及び北支那に於て、一方

では、日本其の他の帝國主義に對する極めて廣汎な武装國民大衆の民族革命戦争の遂行及び勝利の可能性を信じないことを示してゐる見解に對し、また他方では、右の地方に於ける具體的な條件に對して、プロレタリアートの周圍及び其の指導の下に闘争しつつある一切の勢力の統一的反帝國主義戦線を樹立し且強化することを希望せず、理解せず且其の能力なきことに對して闘争を行つたし又行つてゐる。

農民及び兵士大衆の中に於ける革命的活動に於ては、中央委員會は北部及び西北部諸省に於ける武装的進出と勝利は不可能であるといふ右翼的立場に對して、また此の進出を相當な、充分な豫備的準備なしに實行する遊戯と見る個々の地方黨組織の一揆主義的氣分に對して、闘争を行つたし又行つてゐる。

中央委員會はソヴィエト地區及び非ソヴィエト地區に於ける黨全體を、我々の鐵の規律と陰謀取締規則を破壊しやうとする一切の傾向、及び如何なる方面からたるを問はず、あらゆるグループ主義に對する無慈悲な闘争に蹶起させたし、又蹶起させつゝある。中國共產黨は此の期間に理論並に戦術の二つの戦線に於ける無慈悲な黨内闘争を基礎にして成長し且強化した。

B 我々の誤謬と弱點はどの點に現れてゐるか

然し今度は私は次の問題を提起しやう——我々は一切の是等の成功と並んで、過ぐる一年間に黨の活動に於て弱點と誤謬とを有するであらうか？客觀的情勢からの、主體的力の相對的立遅れは、我々に依つて克服せられたであらうか？

非ソヴィエト支那に於ける黨及びソヴィエト活動に於て弱點と誤謬、而も相當重要なものが多くある。それは大體次の點に現れてゐる。即ち多くの重要な都市及び中心地（武漢、廣東、九江等）に於ける黨及び赤色労働組合の餘りにも弱い活動及び弱い組織の結果、廣汎に展開せられつゝある反帝國主義運動の中に組織的なプロレタリア的骨格を今日まで作り出し得なかつたこと、非ソヴィエト支那に於ける黄色労働組合及び國民黨系労働組合の中に於ける依然として不十分な活動、革命と戦争との今日の緊張せる情勢の下に於ける、敵の武装勢力の間に於ける若干の黨組織の許し難い程に弱く且無組織的な活動、廣汎な農民及び飢えたる大衆の間に於ける不十分な活動、都市貧民及びインテリゲンツィアの大衆的活動の意義の過小評價、勤勞婦人

及び青年の間に於ける活動の意義の過小評價、而して最後に陰謀の基礎的な取締規則の爲の、及び挑發に對する、闘争に於ける缺陷と弱點。

ソヴィエト支那に於て我々はまた黨、ソヴィエト及び大衆の活動に於ける自己の弱點と誤謬とを示した。其の中最も重要なものは次の如きものである。即ち若干の地區に於ては、黨及びソヴィエト組織の側からの中農の間に於ける活動に對する不十分な注意、而してまた是等に對する正しからざる（先づ第一に偽「左翼的な」態度、一方では黨組織とソヴィエト組織との間の充分明瞭でなく且正しからざる相互關係（相互の混同、相互の分離、相互の代置等）、個々の共產主義者に於ける反革命的組織と其の活動に對する闘争及び警戒の弱化的傾向等々）。

黨及び革命運動の巨大な成功にも拘らず、而も主體的要素の力と客觀的情勢の要求及び可能性とを比較して見ると、前者の後者からの相對的立遅れが、無條件的に存在する。

今日の支那に於ける客觀的情勢は次の通りである。即ち黨の活動が更に一層強化せられる場合には、我々

は、日本其の他の帝國主義者の奴隷たることを欲しないで、自己の祖國と自己の國民の救助の爲に生命を犠牲にする準備のある一切の、いはゞ名譽ある「民族防衛者」を獲得する完全な可能性を有するであらう。我々はまた一切の飢餓者、失業者及び家なき勤勞者——而して斯る大衆は國民黨の支那及び滿洲には數百萬ではなくて、數千萬、數億を算するのである——を獲得し、彼等を民族的解放の爲、米の爲、パンの爲、土地の爲、勞働の爲、住宅の爲、而してまた不俱戴天の帝國主義者と彼等の奴僕、國民黨其の他の軍閥及び官僚の支配の顛覆の爲、及び全支那に於けるソヴェト革命の決定的勝利の爲の闘争に於ける積極的な戰士たらしめることが出来るであらう。此の意味で可能性及び客觀的情勢の要求からの我々の達成の立遅れは、まだ非常に大である。此の立遅れの克服の爲の闘争は、中國共產黨の當面の戰闘的任務である。

三 支那に於けるソヴェト革命の 當面の見透しと困難及び中國共 産黨並に友黨の任務に就て

の完全な撃破と赤軍の勝利」が是である。此の言葉は、我々の意見に依れば、日本其の他の帝國主義者のソヴェト聯邦への攻撃の場合に、たゞ全ソ聯邦共産黨（ポリシエヴィキ）の任務にとつて妥當するのみならず、それは近い將來に於ける中國共産黨の基本的任務にもまた適合するのである。

然しながら一切の一般的情勢の有利にも拘らず、支那に於けるソヴェト革命のより以上の發展が決定的勝利の途上に於て、今までに劣らず、否一層大いに、國際的及び國內的性質を有する困難と複雑さに遭遇するであらうといふ、モメントを眞面目に考慮しなければならぬ。然し其の性質に於て一切の是等の困難と複雑さとは大體に於て我々の運動の成長の困難と複雑さである。是等は一つとして克服せられないものではない。他方では、世界的規模に於ける、及び支那内部に於ける事件のより以上の發展と關聯して、一切の是等の困難と複雑さは、少くとも其の中の多くのものと相當重要なものは、たゞ進化的な方法でのみならず、また飛躍的な方法で、恐らく輕減せられ且容易に克服せられるであらう。

A 支那に於けるソヴェト革命の 當面の見透しと困難に就て

今日の國際的及び國內的情勢は、支那に於けるソヴェト革命のより以上の發展と勝利にとつて、以前より疑ひもなく有利である。我々は既に、近い將來に於て二つの見透しが可能なことを述べた。即ち、或は支那に於けるソヴェト革命の決定的勝利が、太平洋に於ける帝國主義戦争とソヴェト聯邦に對する帝國主義者の戦争の勃發を豫防するか、或は帝國主義戦争、而して第一に日本其の他の帝國主義者のソヴェト聯邦に對する戦争が、支那に於けるソヴェト革命の決定的勝利に先立つか、である。反ソヴェト戦争の接近と任意の瞬間に於ける其の勃發の可能性とに就ては、滿洲、東支鐵道、蒙古人民共和國の國境及びソヴェトの極東國境に於ける日本軍部の無限の公然の挑發、陰謀及び軍事的衝突さへも是を充分明瞭に物語つてゐる。然し前の場合にも後の場合にも我々——中國共産黨——は我々の基本的任務をたゞ一つの點に見る。即ち全支那に於けるソヴェト革命の決定的勝利の爲の闘争、或はモロトフの言葉をそれに適用すれば、「敵

支那革命の主要な敵は例外なく一切の主要帝國主義國である。此の點に我々の根本的な困難がある。支那はアメリカやヨーロッパの帝國主義的中心からは遠く隔つてゐるが、然し日本の如き好戰的な封建的・ブルジョア的・君主制的な掠奪者の帝國主義隣國と陸続きで或は海を隔て、廣く境してゐる。而して此の日本は既に武力に依つて支那の生きた身體から東北の三省（即ち滿洲）と北の二省（熱河及び察哈爾）とを引き裂き、更に又より以上の干渉を以て脅威して居り、而も極めて短時間の中に、自國及び植民地から巨大な陸・海・空軍兵力を動かすことが出来る。支那に於ける經濟の最重要部分はいくつ以前から國際帝國主義者の掌中にあり、而して事實上一切の大都市及び港は是等の帝國主義的掠奪者達の軍事的勢力に依つて占領せられてゐる。支那革命に對する帝國主義者達の露骨な武力干渉が日々近づきつゝある。

支那に於けるソヴェト革命の決定的勝利の爲の、我々の今後の闘争に於ける第二の極めて重要な困難は、國の經濟的及び軍事的、技術的立遅れにある。過ぐる一年間に行はれた、良き方面への著しい轉換にも拘らず、是等の基本的モメントから、革命運動の發展

の不均等が生ずる。此の不均等は従前からソヴェエト革命の基本的な弱點の一つとなつてゐる。是と並んで、一方では、現在のソヴェエト地域の經濟的立遅れと分散性及び紅軍の軍事的、技術的缺陷、他方では、非ソヴェエト支那に於ける、先づ第一に多くの大都市の労働者の間に於ける、及び滿洲をも含めて、敵の基本的兵力の間に於ける我が黨の活動及び大衆活動の弱點——是が我々の補充的な困難である。

一切の手段を利用すること、而して第一に非ソヴェエト支那及びソヴェエト支那に於ける數千萬或は數億の勤勞者大衆を中國共產黨の指導の下に、又ソヴェエト權力及び紅軍の周圍に、米の爲、パンの爲、土地の爲、民族的獨立の爲の革命的闘争に更に動員し且組織すること——是があらゆる種類の困難と複雑さとを克服し、ソヴェエト革命の決定的勝利を獲得する爲の最も望ましく且最も正しい道である。

B 新しい任務。新しい條件の下に於ける新しい方法に依る活動

革命に依つて既に獲得せられた達成を強化し、又ソヴェエト革命の決定的勝利の爲の前提を實際的に作り出す爲の具體的方策として、中央委員會は黨に對して

微弱な大都市に於て、而してまた軍需及び運輸企業に於て鞏固な、且活動能力ある黨組織を創設し、挑發及び陰謀に對する、及び鐵の規律の爲の無慈悲な闘争を強化すると云ふ意味での黨自體のより以上の強化と發展、並に理論的一貫性、組織的統一及び結合の爲の、而してありとあらゆる日和見主義的傾向及び黨並にコミンテルンの一般方針からの偏向に對する、先づ第一に此の段階に於ける主要な危険性としての右翼的偏向に對する、二つの戦線に於ける非妥協的な闘争のより以上の展開。

多くの人々には一見したところでは、是等の任務は何等新しいものではない、と見えるかも知れない。是は全く間違つてゐる。是等の任務に於て何等の新しいものを見ない者は、彼が問題を本質に於て理解せず、其の實際の内容に於て理解しないで、形式に於て、公式に於て理解するといふ意味で、間違つてゐる。實際に於ては、各種の任務を規定する爲に與へられる同じ公式が、非常に屢々、具體的條件及び情勢に應じて様々に理解せられ且實行せられなければならぬ。若干の實例を挙げやう。

第一に、ソヴェエト支那に於けるソヴェエト國家の

次の如き當面の任務を提起してゐる。即ちソヴェエト支那に對する國民黨及び帝國主義者の第六次遠征を撃退する爲に一切の勢力を動員すること。紅軍及びソヴェエト國家のあらゆる方法に依る、より以上の強化及び擴大。ソヴェエト地域のより以上の強化及び擴大の爲の闘争を強化すること。國民黨の支那に於ける反帝國主義的及び反國民黨的運動の最大限の發展及び指導、並にプロレタリア的ヘゲモニーの確保の爲に此の運動にプロレタリア的骨格を作ること。黄色労働組合及び國民黨系労働組合に加入せる労働者及び非組織労働者を自己の味方に獲得する目的を以て彼等の間で廣汎な活動を展開すること。赤色労働組合を廣汎な大衆組織たらしめること及び支那プロレタリアートの罷業運動の組織と指導を強化すること。抗日大衆バルチザン運動（特に滿洲、北支に於ける）のあらゆる方法に依る發展及び其の中に於ける指導の獲得。兵士大衆の獲得に關する活動の決定的強化及び國民黨の支那に於ける農民及び小ブルジョア大衆の闘争に於ける自己の役割の引上。而して最後に、何よりも先づ指導的組織及び黨全體の構成をプロレタリア化し、數千の新幹部を養成し且拔擢し、それが存在せず又殆ど缺如し又は餘りに

形成、強化及び發展の任務を取上げやう。それは以前にもあつたし今日もある。然し、若し以前、例へば第一回全支ソヴェエト大會前に、我々が此の任務を臨時中央政府の樹立並に中華ソヴェエト共和國の基本的法律及び命令の作成及び發表として理解し且遂行して居り、次いで中央政府の成立及び支那に新しい型の國家としての中華ソヴェエト共和國の形成の後、此の同じ任務が既に第一回ソヴェエト大會の一切の基本的法律及び命令の具體化及び精密化、新情勢に對應して其の作成及び補足、新しい段階に於ける其の實施を意味したとすれば、我々は現在此の任務を同様に理解し且遂行することが出来るであらうか？總ての人は答へるであらう——否、と。我々は今や此の任務を既に一層高い水準に於て、一層詳細な形態に於て、例へば經濟的及び文化的建設のより以上の展開、租税及び豫算體系のより以上の發展と正確化、ソヴェエトに於ける選舉主義と召還權との極めて嚴重な遵守、統制委員會及び勞農監督局の活動の改善、革命的法律のより嚴重な遵守と強化等々の形態で理解し且遂行するのである。

更に第二に、反帝國主義運動の展開の任務を取上げ

やう。我々はそれに就て常に論じて来たが、然し、滿洲事變の前と後とで此の任務を同様に理解し遂行することが出来るであらうか？殊に、一方では蔣介石と國民黨全體とが言葉の上にも實際的にも民族的裏切行爲の公然の擔當者たることを完全に暴露し、他方では、支那分割の目的を以て日本其の他の帝國主義者のより以上の進出が不斷に行はれてゐる今日、此の任務を以前と同じ様に理解し且實行することが出来るであらうか？總ての人は答へるであらう——否、と。何故なら以前には問題は、「或は日本其の他の帝國主義者を支那から驅逐し、民族的獨立を獲得する爲の國民の武裝闘争か、或は全支那國民を日本其の他の帝國主義者の奴隷と化するか」といふやうに尖鋭化せられてゐなかつたから。然し民族的恥辱及び民族的裏切の政府としての國民黨の暴露は、さほど公然且深刻ではなかつた。それ故今や我々は、反帝國主義運動の展開の任務を、日本其の他の帝國主義に對する武裝國民の民族革命戦争の組織及び實行として理解する。今や我々は國民の總ての層及び一切の大衆組織の中に於ける、又一切の場合に於ける民族的危機からの脱出に關する此の問題を合法的及び半合法的に提起し且審議し、大衆の前に

以前と同様に、大體兵士大衆の獲得に向けられてゐるが、今や我々はまた、敵軍の下級及び中級幹部、例へば下級士官及び種々の軍官學校に於ける若き聽講生の間に於ける活動にも自己の注意を向けなければならぬ。而して彼等の中には、自國民の民族的解放の爲に日本其の他の一切の帝國主義と眞摯に闘争しやうと欲し、而して軍事知識の獲得及び武器の獲得の爲に軍官學校又は戰鬪部隊に入つてゐるところの、多くの實際に誠實な所謂「民族防衛者」が含まれてゐる。——此の場合彼等は一時期國民黨の民族的デマゴグの影響下に陥つたが、今や國民黨の頼りにならないことを愈々益々意識し、而して共產黨指導下の革命のうちに新しい活路を見出さうとしてゐる。

第四に、飢えたる大衆及び失業者の間に於ける活動の任務を取り上げやう。我々はそれに就て以前にも論じた。然し今日の條件の下に於ては此の任務の理解及び遂行には何等かの新しいものがあるであらうか？我々は答へる——然り、と。此の新しいものはどの點にあるか？それは、今や我々が彼等の間に於ける活動の任務を何よりも先づ、一方では、此の極めて大なる人的資源を、帝國主義者及び國民黨に對する武裝闘争

我々の革命的標語の正しさを證明し且是等を決定的行動に導く完全な可能性を持つてゐる。我々は此の問題を以前、例へば滿洲事變前に斯くの如く提起し且解決することが出来たであらうか？勿論、出来なかつた。更に第三に、敵の兵力の間に於ける活動の任務を取り上げやう。我々はそれに就て常に述べて来たが、然し今日の政治的條件の下に於ける、我が黨に依る此の任務の具體的遂行には何等かの新しいものがあるであらうか？我々は答へる——然り、と。此の新しいものはどの點にあるか？それは次の點にある。即ち、(一)今や我々は敵の軍隊に關しては既にそれを崩壊せしめる任務よりも寧ろそれを革命の味方に獲得する任務を提議する。何故なら滿洲、熱河、上海、江西、福建、四川其の他の地方に於ける實際的經驗は、革命の力と影響の増大及び、未曾有の民族的、反帝國主義的昂揚の今日の條件の下に於て、それに相應した活動、否時には餘り充分ならざる活動の下でさへ、此の軍隊を帝國主義者の豫備隊及び支那反革命の武裝的支柱から、日本其の他の帝國主義國及び民族的裏切者に對する戰鬪力に轉化する、より大なる可能性が作り出されたことを、既に我々に示した。(二)現在、我々の軍事的活動は、

に於ける紅軍及び赤色バルチザンの隊伍の補充の爲に利用するといふ見地から、他方では、國民黨及び帝國主義者が此の資源を革命に對して利用する可能性を豫防するといふ見地から提起しなければならぬ(例へば蔣介石は今や三箇月間に六十萬人の兵士を新たに募集する件に關する命令を發したが、此の場合は何よりも先づ飢餓民を計算に入れてゐる)。

或は最後に、小ブルジョア・インテリゲンツィアを革命の味方に獲得する任務を取上げやう。我々はそれに就ても常に述べて来た。然し此の層の間に何事か行はれてゐるか？此の方面に於ける我々の活動には何等かの新しいものがあるであらうか？然り、ある。一方では、支那に於ける帝國主義及び國民黨の現在の支配下に於ける未曾有の民族的危機、國民大衆の堪え難い窮乏化及び法外な状態、他方では、ソヴィエト聯邦に於ける社會主義建設の偉大な世界史的勝利及び支那に於けるソヴィエト革命の大なる勝利と關聯して、小ブルジョアのインテリゲンツィアの間に明瞭な轉換、革命及び共產黨に對する明白な左傾が認められる。彼等は今や革命を民族的奴隷化からの活路と見、中國共產黨を反帝國主義革命の唯一の指導者と見てゐる。此の

瞬間に於ける我々の任務は、先づ第一に、彼等の大多數を反帝國主義運動の積極的戰士に轉化し、彼等を煽動・宣傳的勢力として利用し、彼等の中の一切の専門家を中華ソヴィエト共和國の領域に於けるソヴィエト建設の援助に吸引する爲に、此の人口層の中に於ける自己の活動を強化することにある。是と並んで、黨の前に提議せられた具體的な戰術的及び實際的任務を、具體的な主觀的及び客觀的條件を考慮することなしに、デマゴグ的、圖式的、機械的及び固定的に理解し且遂行すること、黨及び大衆組織に於ける多くの我々の同志が新しい條件の下に於て新しい方法で活動する能力のないことが、我々の實踐的活動が客觀的情勢から立遅れてゐる基本的な原因の一つである、といふ事實を眞面目に強調しなければならぬ。黨全體は此の問題に於て決定的な轉換を實現しなければならぬ。

C 第六次反ソヴィエト遠征に對する紅軍の勝利に就て、及び支那革命に對する友黨の任務に就て

極めて最近（一九三三年九月六日）中央執行委員會議長兼人民委員會議長毛澤東、彼の代理項英及び張國燾並に革命軍事會議首席及び勞農赤軍司令官朱德の署名を

官で、現在、國際資本の雇人蔣介石の奉公人たるゼークト將軍に依つて直接指導せられる國民黨の部隊と紅軍との間の此の大戦争の進行に關する新しい報道を毎日熱心に待つてゐる。

今や十二月の初め、遠征開始の後三箇月を経て、中國共產黨代表は、コミンテルン執行委員會第八回總會に於て、全世界に對して次の如く聲明することが出来る——

國民黨と帝國主義者との第六次反ソヴィエト遠征は、大體に於て既に崩壊しつつある（喝采）。
たゞ北部江西戦線に於てのみ、今日まだ紅軍と蔣介石の基本的勢力との間に戦闘が行はれて居り、而して紅軍は今のところまだ決定的な勝利を獲得してゐない。然し總ての其の他の基本的戦線に於ては——福建、廣東、四川戦線に於ては——英雄的な勞農赤軍は、既に第六次遠征に對して決定的且完全な勝利を獲得した。

我々はまた我々の戦勝に關する全面的な報告を持つてゐないが、而も諸戦線からの現存の個々の報告は、充分明瞭である。例へば福建戦線に於ては第十九路軍が既に十月の初めに撃破せられた。此の戦線に於ける

得て、北米合衆國、イギリス、フランス、日本、ドイツの勞働者、農民及びインテリゲンツィア宛、及び一切の勤勞者、帝國主義の敵及び支那國民の一切の友人宛の、蔣介石及び帝國主義者の第六次反ソヴィエト遠征に對する闘争への援助を訴へた中華ソヴィエト共和國中央執行委員會のメッセージが發表せられた。

此のメッセージには次の如く書かれてゐる——
「兄弟、姉妹、同志、友人よ！若き中華ソヴィエト共和國は、敵の勢力の數的及び技術的優越にも拘らず、男女老若の生命を犠牲にした英雄的戦闘に於て、反革命の五度の遠征を撃退した後、今や重大な危険に當面してゐる。

此の重要な瞬間に於て——と更にメッセージには述べられてゐる——我々は諸君に次の如く呼びかける。即ち我々を非人間的な生活條件へ退却せしめやうと欲し、我々の生命を奪はうと欲する者に對する闘争に於て我々を援助せよ。

萬國のプロレタリアートと勤勞者は中華ソヴィエト共和國中央執行委員會の此のメッセージに廣く呼應した。

支那革命の一切の友と敵とは、元ドイツ國防軍司令

勝利は次の如くであつた。即ち第十九路軍の六箇師の中四箇師（第七十八、第六十、第三十一及び第三十二師）、而してまた盧興榮將軍の第一師、軍閥劉和鼎の第一師は重大な敗北を蒙つた。第十九路軍の三箇聯隊は紅軍側へ移つた。兵士三千三百人、旅團長一人、聯隊長三人、大隊長四人が紅軍に依つて捕虜にされた。此の福建戦線に於て紅軍は十二隻の大汽船と軍需品、食糧、食鹽及び貨幣の完全な積荷（八隻の汽船の荷卸の爲に勞働者一萬人以上を要した）、小銃四千六百挺、重機關銃五十臺、輕機關銃三十臺、拳銃（モーゼル銃）五百挺、鐵兜二千箇、實包四十萬箇、手榴彈五千箇及び無電設備三基を分捕つた（喝采）。福建の西部及び北部の殆ど總ての縣がソヴィエト化せられた。

四川戦線に於ては我々の勝利はまた非常に著しかつた。四十六箇聯隊より成る田頌堯の軍隊は第四紅軍に依つて殆ど全く撃破せられ、其の結果、小銃六千挺、機關銃百臺が我々に分捕られ、而して高級及び中級隊長八人及び兵士約一萬人が戦闘に於て捕虜になり、負傷し又は戦死した。軍閥劉湘及び楊森の部隊の一部は撃破せられ、軍閥劉文輝の第八旅團は馬邊、峩邊、峩眉の諸縣に於て蜂起し、農民赤色バルチザンと共に四

川紅軍の第一獨立師に再組織せられた。是に依つて西部四川に於て新しいソヴェト根據地が設立せられた。背後に混亂を持つてゐて、久しい以前から防禦的立場を占めてゐた南部江西戦線に於ける廣東部隊は、次々と敗北を蒙つて、我々に對する一切の軍事行動を一時中止することを餘儀なくされた。北部江西戦線に於ては、紅軍は既に蒋介石の第九十六、第五、第六、第七十九、第二十三師其の他の若干の師團を撃破し、其の際第五師及び第六師に對する勝利の結果、我々は小銃七千八百挺と無電設備二基を獲得した。紅軍はゼトクトと蒋介石の軍事計畫に一再ならず破滅的な打撃を與へ、而して今や彼等をして多くの場所及び場合に於て攻撃戰術から防禦戰術に移行することを餘儀なくさせた。福建に於ける最近の事件と關聯して、さなくしてさへ不安定な蒋介石軍の背後は、完全にぐらつて、敗北的及び狼狽的氣分に捉へられた。

中國共產黨に依つて直接指導せられる紅軍とソヴェト權力との今日の勝利は未曾有の大勝利である、といふ事實が特に強調せられなければならぬ。軍事的見地からすれば、是は次の點にある。即ち第一に、此の勝利が我々に依つて極めて短期間に達成せられたこと

と、第二に、此の勝利の過程に於て紅軍が福建に於ける延平（厦門及び福州と並んで此の省に於ける三大都市及び港の一つ）及び四川に於ける萬縣（重慶及び成都と並んで此の省に於ける三主要都市の一つ、是は揚子江上流の最も大きな港の一つで、其處にはイギリスの利権が存在する。一九二五年大衆の廣汎な反帝國主義的昂揚と關聯してイギリス帝國主義者は此の都市を砲撃した——全世界に知られた事件）の如き大都市及び港を占領したのみならず、また自己の掌中に固守してゐること、第三に、軍事行動の際に紅軍が大いに威力を發揮したので、多數の敵が親密な言葉で紅軍に話しかけて來ることを餘儀なくされ、軍事行動を中止したこと、第四に、我々が非常に久しく成功しなかつた第二紅軍と第四紅軍との統一が四川と湖北との境に於て達成せられたことが、是である。政治的見地からすれば、我々の勝利は次の點にある。

此の勝利は無敵勢力としての紅軍と、事實に依つて自己を主張する政府としてのソヴェト政府との權威を全世界の前に更に一層高めた。此の勝利の結果、特にソヴェト地區の隣接地方に於て、國民大衆と軍閥軍の兵士との急速な革命化過程が行はれつゝある。福

建に於ける最近の事件もまた此のことを證明してゐる。南京及び蒋介石から「獨立した」新政府の樹立、日本帝國主義と蒋介石に對する闘争や、言論・出版・集會・結社・信仰・同盟罷業・示威運動等の自由を其の領土に於て人民に提供することや、生産者代表大會の召集や、民主共和國の建設や、一切の不平等條約の承認や、支那の完全な獨立や、口數に依る土地の分配や、一切の森林・水面及び鑛物資源の國有化等に關する急進的標語の福建政府に依る宣言——總て是等は第十九路軍、即ち一九三二年の初め上海の英雄的防衛の時、共產黨及び上海の勞働者と共に支那國民の解放闘争史に最も光榮ある頁の一つを書きつけた軍隊の最高司令部の策動及び左翼的文句であるのみならず、成功を自ら確保することを目的とする他の軍閥及び政治家のデマゴグ的約束であるのみならず、また革命化しつゝある國民及び兵士大衆並に軍閥軍隊の下級及び中級指揮官の大部分さへもの重大な壓力の結果でもある。福建事件は孤立的なものではなく、近い將來に更に他の事件を惹起するであらうと確信を以て云ふことが出来る。それは客觀的には全支那に於て大衆的な抗日及び反蔣運動の、新しい、更に一層顯著な昂揚を喚起す

るに相違ない。若し以前あらゆる我々の勝利が紅軍に對する闘争に於ける一切の反革命的軍閥的徒黨のより以上の團結と結合を伴つたとすれば、今度はそれは、自身の經驗に基いて紅軍の無敵性を知つた反革命的陣營に於て、分裂、摩擦及び公然の掴み合ひの強化を喚起したが、それは不可避的にソヴェト革命の發展の爲になるであらう。一方では、全支那に於ける紅軍及び革命運動の力の増大と、他方では、蒋介石と他の軍閥との間の闘争の激化と關聯し、最近に於ける日本、アメリカ、イギリス帝國主義の間の對立の緊張に鑑みて、我々は、紅軍が近い將來に第六次遠征に對して完全な勝利を收め得るであらう、といふことが出来る。掠奪者達の間の關係に於ける此の緊張状態は日本の行動と蒋介石の日本帝國主義側への移行とに依つて喚起されたのである。是と並んで帝國主義者の間、先づ第一にアメリカ、日本及びイギリスの間の闘争が非常に尖鋭化しつゝある。滿洲、熱河及び察哈爾に次いで、日本は今や事實上、更に豊富な北部五省を占領し、是を自己の完全な統制に從屬せしめた。然し是に満足しない、日本は蒋介石の援助の下に全支那を占領しやうと脅してゐる。アメリカは、南京政府に於ける自己

の地位の回復に全力を傾けると共に、南支那及び北支那に於ける、而して第一に福建及び廣東に於ける自己の政策を積極化し、第十九路軍司令部の援助の下に、是等の省に於ける自己の影響を強化し且其處から日本及びイギリスの競争者を驅逐しやうと努力してゐる。イギリスは、西南支那及び雲南四川兩省の分割に就てフランスと協定を結び、一般に北米合衆國に對する日本の闘争を支持すると同時に、自ら北支那に於ける日本の支配に對して、揚子江流域に於ける日本の影響の強化に對して闘争を行ひ、且日本商品ボイコットの實行の爲に南支那に於ける自己の地位を利用しつゝある。總て是等のことの結果として國民黨内部に於ける闘争は大いに尖鋭化しつゝある。

支那に於ける第六次遠征に對する紅軍の勝利の後、近い將來に於ける状態はどうか、といふ問題を提起するならば、我々は次の二つの可能性を考慮に置かなければならぬ。

一、ソヴェト革命の力の成長に對する軍閥及び帝國主義者の恐怖が彼等をして再び一時自己の對立を緩和し、延期せしめ、而して當分公然の相互的掴み合ひを中止して、新しい反ソヴェト遠征を組織せしめる

でなければならぬ。此のことを、我々は眞面目に理解しなければならぬ。

同様に我々の友黨、先づ第一に日本、イギリス、アメリカ、フランス及びドイツに於ける共產黨は支那革命及び其のソヴェトの眞實の擁護と其の援助の問題を提起し且解決しなければならぬ。

然し一切のポリシエヴィキ的率直さを以て自己批判的に、我々は次のことを公然聲明しなければならぬ。即ち國民黨と帝國主義者の第六次反ソヴェト遠征に對する闘争に於て、黨新聞及び大衆新聞に於ける支那ソヴェト革命の普及並に西ヨーロッパ及びアメリカの多くの國に於ける友黨側からの大衆的宣傳及び煽動に依る中華ソヴェト共和國の擁護と云ふ意味で若干の轉換が既に認められたにも拘らず、日本に於ける我々の友黨が英雄的且ポリシエヴィキ的に到る處で其の全力を以て支那國民と支那革命とを擁護して、ミカドと荒木との野蠻な帝國主義に對し進出してゐるにも拘らず、ドイツに於ける我々の友黨が、狂暴なファシストのテロルを顧みずに、ゼークト其の他のドイツの將軍及び參謀部員が中華ソヴェト共和國に對して向けら

であらう。而して、其の際四川、福建、江西其の他の地方に於て支那革命に對する帝國主義者の、第一にイギリス及び日本の帝國主義者の即時の公然且直接の武力干渉が起るかも知れない。

二、或は帝國主義者が餘りに高くつく公然の武力干渉を一時放棄することを餘儀なくされ、他方國民黨の掠奪者達相互間の闘争が極度に緊張するであらう。然らば前の六回の遠征に於て撃破せられた勢力を、新しい遠征の爲に集結し且準備するのに一定の時間が彼等に必要となるであらう——其の時には紅軍は多くの戦區に於て、短期間ではあらうとも、敵の公然の軍事行動の一時的中止と云ふ意味で、或る形態の軍事的息継ぎを得るであらう。斯る可能性もまたなきにしもあらずである。然しソヴェト支那に對する帝國主義者の隠然又は公然の形態での新しい武力干渉への傾向が最も強いといふことは、疑ひのないところである。

然し右の孰れの場合にも、第六次遠征に對する完全な勝利の後、ソヴェト革命の決定的勝利の爲、其の公然及び隠然たる形態での、帝國主義者の武力干渉に對する勝利的抵抗の爲の中國共產黨の闘争を決して弱めてはならない。それは眞實の最も重大な戰闘的任務

れた國民黨の反革命戦争に参加してゐること、而してまた社會民主主義者グルジエンスキーと彼の協力者が南京の保安警察を指導する爲に蒋介石に仕へてゐることを決定的に暴露してゐるにも拘らず——而も今日まで支那革命の擁護の爲、及び東洋に於ける帝國主義戦争に對する、帝國主義諸國の我々の友黨の國際的實踐的闘争、大衆的革命的行動は、支那ソヴェト革命とソヴェト聯邦とに對する干渉及び支那の完全な分割と世界の新しい再分配の爲の帝國主義戦争を組織しつゝある當該諸國の帝國主義者の積極的行動から遠く遠く立遅れてゐる。

此の極めて重大な活動に於ける我々の友黨の長い間の立遅れは何に依つて説明すべきか？

今迄多くの我々の同志が支那革命の國際的意義及び役割を不充分に評價したことに依つて説明すべきではなからうか？ 植民地革命としての支那革命は、世界革命の或る重要なならざる補助的勢力であり、従つてそれを眞面目に取扱ふには値しない、と彼等は考へてゐる。若しさうだとすれば、是は深刻な誤謬である。植民地及び半植民地に於ける革命に對する斯る意見は、一般に、而して特に中華ソヴェト革命に就て正しくな

く、非レーニン主義である。今日の支那革命は、帝國主義に向けられ、従つて客觀的に革命的意義を有する、或る小さな植民地に於ける自然發生的な運動ではない。それは共產黨に率ゐられた勞農ソヴェト革命である。それ自體既に世界プロレタリア革命の連鎖の基本的な環の一つであつて、支那に於ける今日の革命のあらゆる成功は支那に於ける勝利的な社會主義建設への、より以上の移行の爲の前提の實際的創造を意味する。

多くの我々の同志が、既に一九二六年にスターリンに依つて審判せられたところの、支那に於ける帝國主義的干渉に對する正しからざる誤つた見解を未だ保持してゐるが故ではなからうか？彼等は、帝國主義諸國から、特に彼等の國からの兵力の大動員がないから、従つて眞の干渉はない、と恐らく考へてゐるのであらう。スターリンが此の誤謬に就て何と云つたかを見やう。

「此の場合に干渉とは、支那の領土へ外國の軍隊を引入れる事實が存在する時の如き状態であり、斯る事實が存在しなければ、干渉は存在しない、と理解する傾向がある。諸君、是は極めて深刻な誤謬で

ある。干渉は決して軍隊の引入れに盡きるものではない。軍隊の引入れは決して干渉の基本的特徴ではない。外國軍隊の直接の引入れが多くの抗議と軋轢を喚起し得るやうな、資本主義國に於ける革命運動の現在の條件下に於ては、干渉は一層柔軟な性質の一層隠蔽せられた形態を持つてゐる。今日の條件の下に於ては帝國主義は隸屬國の内部に於て内亂を組織することに依つて、革命に對する反革命的勢力へ資金を提供することに依つて、革命に對する自己の支那の手先の精神的及び財政的支持に依つて干渉する方を好しとしてゐる。帝國主義者は、ロシアに於ける革命に對するデニキンとコルチャック、ユトデニッチとウランゲルの闘争を専ら内部的闘争として描き出す傾向があつた。然し我々は總て知つてゐた、而して我々のみならず、全世界もまた知つてゐた、是等の反革命的なロシアの將軍達の背後にイギリスとアメリカ、フランスと日本の帝國主義者が立つて居り、而して彼等の支持なくしてはロシアに於ける重大な内亂は全く不可能であつたことを。同じことは支那に就てもまた言はれなければならぬ。支那に於ける革命に對する吳佩孚と孫傳芳、張作霖と

張宗昌の闘争は、總ての國の帝國主義者が是等の反革命的將軍達を激勵しなかつたら、若し彼等が金融、武器、教官、『顧問』等を提供しなかつたら、全く不可能であつたらう」(註)。

(註) スターリン、一九二六年十一月三十日コミンテルン執行委員會支那委員會議に於ける演説、論集「反對派に就て」、四二五頁、國立出版所、一九二八年。

スターリンの此の指示は一九二六年に於ける支那の革命と反革命との間の闘争に就て全く正しい。然し、それは中華ソヴェト共和國と其の紅軍に對する蔣介石と劉湘、陳濟棠と何成濬との今日の闘争に依つて更に一層浮彫的に確認せられてゐる。日本、イギリス、アメリカ、フランス及びドイツの帝國主義者の金融、武器、教官、「顧問」に依る援助がなかつたら、蔣介石と全國民黨とは強力な人民ソヴェト革命に依つて支那の地表から、どうの昔に拂拭せられてゐたであらうといふことを我々は確信してゐるし、又多くの我々の敵共は公然とさう聲明してゐる。それと共に干渉に對する上述の見解は、特に今日に於ては、甚だ間違つてゐる。何故ならば、日本の帝國主義者が既に久しい間支那に於て公然の干渉を行つてゐるのみならず、他の帝國主義者も支那の領土に於て自己の艦隊と軍隊とを増

大しつゝあるからである。是と並んで、支那が一切の帝國主義者の半植民地であつて、其處では既に「平時」に於て彼等のかなり大なる兵力が存在してゐた、といふ本質的なモメントを更に考慮しなければならぬ。従つて公然たる干渉の初めに於てさへ、帝國主義者がまだ兵力の不足を感せず、敗北を蒙らない限り、彼等は支那へ新しい軍隊を引入れる必要がないのである。

而して最後に、此の活動に於ける我々の友黨の立遅れは、屢々我々の同志達が、自國に於ける權力の爲のプロレタリアートの革命的闘争と、他國の民族に對する自己のブルジョア政府の帝國主義戦争に反對する實際的な革命的闘争と、自己のブルジョアに依つて抑壓せられた諸民族の間に於ける革命運動の擁護との間の相互的聯關と相互的關係を、まだ不充分にしか理解せず、而して是等を分離することに依つて、説明せられるのではなからうか？若し然りとすれば、十月革命の勝利に於けるレーニンとスターリンを先頭とするロシアのボリシエヴィキの經驗を眞面目に研究しなければならぬ。帝國主義戦争に反對して平和を求め眞の國際的な革命的闘争と、土地とパンの爲の勞働者及

び農民の革命的闘争と、ツァリズムとロシア・ブルジョアジーとに抑壓せられた諸民族の民族解放闘争との正しい結合がボリシエヴィキの世界的勝利と一九一七年十月とを条件づけたことは、總ての人々に知られてゐるではないか？それ故、中華ソヴェートの擁護の仕事が世界プロレタリア革命の擁護の仕事であり、自國に於けるソヴェート權力の勝利の爲の闘争の不可分な一部であることを、我々は充分明瞭に理解しなければならぬ。

コミンテルンと中國共産黨とは、レーニンに依つて直接提議せられた次の如きコミンテルンへの加入の基本的條件の一つの遂行を我々の友黨に對して要求する完全な權利を有する。

「共産インターナショナルに加入しやうと欲するあらゆる黨は、各ソヴェート共和國を反革命的勢力に對する其の闘争に於て獻身的に支持する義務を有する。共産黨は、ソヴェート共和國の敵へ差向けられる軍需品を輸送することを労働者が拒絶するやうに、不撓不屈の宣傳を行ひ、労働者共和國の壓殺の爲に派遣せられる軍隊の内部に於て合法的又は非法的に宣傳を行はなければならぬ等々」(註)。

の干渉者に對して！

支那への兵器及び彈藥の輸送に對して、陸・海・空軍の即時の召還、而してまた、アメリカの飛行士及び軍事技術的専門家並にドイツの將軍及び參謀部員の支那からの召還の爲に！」

我々は直に是を遂行しなければならない！

ロシア・ソヴェート社會主義共和國に對する帝國主義的干渉の當時、總ての資本主義國に於て共産黨が漸く創設せられ始め、而して是等はまた極めて微力であつたが、それにも拘らずプロレタリアートと労働者とは、我々のアンドレ・マルティの如き英雄を自己の隊伍から輩出し、而して既に當時自己のブルジョアジーに反對し且世界最初のソヴェート共和國を擁護する闘争に於て英雄主義の奇蹟を示すことが出來た。然るに、帝國主義強國——日本、フランス、イギリス、アメリカ、ドイツ及びイタリアの水兵及び兵士の間に數千人のアドレ・マルティが存在するのみでなく、世界的な革命的危機が特に急速に成熟しつゝあり、共産黨があらゆる資本主義國に存在し且闘争しつゝある今日の條件の下に於ては、中國共産黨は我々の友黨——先づ第一に日本、イギリス及びアメリカの友黨——と協同して、

(註) コミンテルンの加入條件に關する決議。コミンテルン第二次大會速記報告、五六五頁、コミンテルン出版部、ペトログラフ、一九二一年。

中國共産黨は此の基本的にして名譽ある任務の遂行を我々の友黨に對して要求する完全な權利を持つてゐる。労働者は全世界の資本主義的掠奪者の同盟に、自己の同盟——即ち支那國民の壓迫者及び搾取者に對して中華ソヴェート共和國を、自國の壓迫者及び搾取者に對して自分自身を擁護せよといふ支那ソヴェートのアッピールに呼應した、萬國の労働者の連帶的、友誼的同盟を對置しなければならぬ。中華ソヴェート共和國の中央執行委員會に依つて九月六日の其のメッセージに於て一切の我々の友黨の前に提起せられた次の任務を近い將來に實際に實現しなければならぬ。

「中華ソヴェート共和國の最高機關——中央執行委員會は諸君に、ソヴェート支那に於ける帝國主義者の干渉に對して、支那の分割及び支那國民を犠牲としての帝國主義者に依る、新しい世界戦争の準備に對して、我々と協同して精力的な大衆的闘争を行ふべく呼びかける。

ソヴェート支那に於て空爆及び化學戦争を行ひつゝあるアメリカ、イギリス、日本、フランス及びドイツ

我々の愛する指導者スターリンを先頭に戴くコミンテルンの指導の下に、また全ソ聯邦共産黨(ボリシエヴィキ)の經驗に依據して、自己の歴史的任務を勝利を以て遂行することが出来るであらう。

中華ソヴェート共和國と其の英雄的な勞農紅軍萬歲！

中國共産黨——支那に於ける勝利的なソヴェート革命の指導者及び組織者——萬歲！

レーニンのコミンテルンと其の突撃隊——全ソ聯邦共産黨(ボリシエヴィキ)と我々の指導者スターリン萬歲！

萬國のプロレタリアと全世界の被壓迫民族との國際的連帶性萬歲(長き喝采。支那代表團からの挨拶、喝采及び「萬歲！」の叫び。總會の代表等は「インターナショナル」を合唱する)。

支那及び滿洲國關係事項及び人名解説

四一八

(一) 事項

アジア的生産様式 「經濟學批判」の序文に用ひられたマルクスの用語で、先資本主義的東洋の社會組織に適用せられる(農奴的、封建的生産様式)の特殊な停滯の形態)。

阿片戦争 支那の阿片密輸入禁止に對する返報としてイギリスに依つて開始せられた一八三九—一八四二年の最初の英支戦争。歴史的には外國資本の支那への活潑な侵入の日附である。蓋し支那の敗北を以て終つた此の戦争の後、最初の不平等條約が結ばれ、是は外國人に多くの港を「開放」し、イギリスに香港を割譲し、支那へのより以上の侵入の基礎となり且支那に賠償金を課した。

安徽 中支那に於ける省、江西、湖北、河南、浙江、江蘇に境してゐる。面積十四萬二千平方呎、人口約二千萬。

安福派 支那に於ける親日的軍閥。一九一八—一九二〇年及び一九二四—一九二六年北京に於て權力を掌

握してゐた。

雲南 支那の西南の省、佛蘭西の勢力圏に屬し經濟的に遅れてゐる。人口(約一千萬)に於ては非支那種族(苗、傜、タイ其他)の優勢な地方。

AB團 反ポリシエヴィキ同盟。一九二七年右翼國民黨員段熹民に依つて作られた支那に於ける地主・富農の反革命的組織。一九三〇年ソヴェト地區に於ける特殊な積極性を發展せしめた。「AB團」員は牽制運動をなし、ソヴェト、黨、紅軍に潛入し、支那ソヴェト權力を内部から爆破しやうと試みた。彼等は蔣介石の本部と密接に連絡を保ち、彼と其の活動を一致せしめた。是に依つて組織せられた大陰謀が暴露せられた後、一九三〇年末ソヴェト政府に依つて大體に於て清算せられた。

延平 福建省に於ける都市。

改組派 一九二五—一九二七年の革命の一時的敗北の後には作られた「國民黨改組派」。汪精衛に率ゐられて、支那の勤勞者の革命的闘争を支配的徒黨に對する反對派的闘争の水路に向けやうとした、ブルジョア・地主的

反動の左翼。

海陸豊 廣東省に於ける二縣——海豊及び陸豊——の總稱。支那に於けるソヴェト運動の最初の根據地、其處に一九二七年の秋、海陸豊共和國の名で知られた最初のソヴェト權力が樹立せられた。四箇月間存続した。

河南 中支那の省(人口約三千萬)、經濟的に未發達な且、農民運動の形態の遅れた地方。湖北及び安徽兩省境の南部の諸縣にソヴェト權力が樹立せられた。

漢口 揚子江に於ける最大の港及び商業中心地、外國租界の存在する地方、プロレタリア中心地。

廣西 廣東、湖南、貴州、雲南の諸省及び佛領印度支那と境する南西支那の省。人口は一千二百萬以上。

廣西派 張發奎、李宗仁及び白崇禧を先頭とする南支那軍閥の徒黨、一九二五—一九二七年の革命の敗北後發生した。

甘肅 内蒙古、新疆、四川及び陝西と境した北西支那の省。面積三十二萬三千七百平方呎。人口約六百萬、主に回教徒。不斷の民族的回教徒暴動の地方。經濟的には最も遅れた省の一つ。

「關稅」理論 一九二五—一九二七年の革命時代に提

起せられたトロツキーの理論。是に依れば支那革命の根本問題は、支那資本主義の發展の爲に自由を與ふべき支那の關稅自治の問題である。「支那革命は、支那資本主義の生産力の發展が、帝國主義國に對する支那の關稅的依存に立脚したといふ基本的原因に依つて、民族ブルジョアの性質を持つてゐる」(トロツキー、支那革命とスターリンのテーゼ)。

「トロツキーに従へば、斯くして、支那に於ける封建的殘存物が其の一切の軍閥的・官僚的上層建築と共に、此の瞬間に於ける支那革命の基本的推進力ではなくて、専らそれを妨害することに役立つ第二義的な些細な力である、といふことになる。

トロツキーに従へば、斯くして、支那に於ける民族革命の「根本原因」は、帝國主義に對する支那の關稅的依存であり、支那に於ける革命は、それ故、主として、いはゞ反關稅革命である。

是がトロツキーの概念の出發點である。是が支那革命の性質に對するトロツキーの見地である。

此の見地が張作霖「閣下」の見地であることを指摘させて戴きたい。

若しトロツキーの此の見地が正しいとすれば、農業

革命をも労働者革命をも欲せず、たゞ不平等條約を廢止して支那の關稅自治を樹立しやうと努力してゐる張作霖と蔣介石とが正しいことを承認しなければならぬ。トロツキーは張作霖と蔣介石との書記の立場に顛落した」(スターリン「反對派に就て」、五八九—五九〇頁)。

廣東 南支那の省(面積二十四萬三千平方糎、人口約三千五百萬)、經濟的に最も發展した省の一つ(首都廣東)、支那近世史上に於ける革命運動の根源地。

廣東 南支那の最大都市、港及び手工業中心地、革命運動の根源地、孫逸仙の革命政府の首府、ソヴェエト權力が作られた最初の都市(廣東コムミュニオン)。

廣東軍 英雄的な北伐を行つた廣東政府の國民革命軍。

廣東コムミュニオン 一九二七年十二月十一日、中國共產黨に依つて指導される廣東労働者の英雄的蜂起の結果建設された。廣東コムミュニオンは僅か三日間存在したのみで、帝國主義及び支那の反動に依つて擊破せられた。指導部に依つて犯された誤謬(農民との連絡の缺如其他)もまた其の敗北に於て若干の役割を演じた。一九二五—一九二七年の革命に於けるプロレタリアートの後衛戰であつた廣東コムミュニオンは、支那革命の

新しきソヴェエト的段階の開始を印づけた。

廣東政府 北京反動政府に對抗して、一九一六年五月十二日孫逸仙に依つて樹立せられた南支那の國民革命政府。一九二七年一月一日まで——革命首都武漢への移轉の瞬間まで存在した。

廣東時代 帝國主義に對する統一的な民族戰線の存在に依つて特徴づけられる支那革命の第一段階。

貴州 廣西、湖南、雲南、四川の諸省と境する南支那の省。經濟的には遅れた地方。著しい程度に非支那的種族(苗、獠其他)が居住する。人口約一千二百萬。

徽州協定 支那が滿洲國を承認し支那に於て多くの利權を日本に提供した日本と蔣介石との間の秘密協定(一九三三年)。

吉林 ソ聯邦及び朝鮮と境した滿洲の省。面積二十七萬二千平方糎、人口約五百五十萬。

九江 江西省に於ける揚子江畔の貿易港。一九二七年革命的勢力に依つて占領せられたイギリス租界の存在する地方。

京漢鐵道罷業 一九二三年二月に於ける京漢鐵道從業員の同盟罷業。二月七日吳佩孚將軍に依つて罷業勞

働者への發砲が行はれたが、それは革命的プロレタリアートに對する、支那國內の反動に依る公然の攻撃の最初の行動であつた。

景德鎮 江西省に於ける都市、支那の製陶業の中心地。

江西 中支那の揚子江の南にある省。面積十八萬平方糎、人口二千七百萬。ソヴェエト運動の基本的地方、省の大部分はソヴェエト權力の下にある——即ち福建省境に於ける中央ソヴェエト地區、江西・湖南ソヴェエト地區、江西・湖南・湖北ソヴェエト地區、江西・浙江・福建ソヴェエト地區——然しまた今のところでは、國民黨や軍閥の兵力が集中せられてゐる鐵道線路や大都市に依つて是等の地區は分離せられてゐる。

江蘇 中支那に於ける海に沿ふた省(面積十萬平方糎、人口三千五百萬)。上海、無錫、南京、蘇州に於て工業中心地を有する經濟的に最も發達した省。

紅槍會 北支那及び中支那に於ける秘密結社型の農民組織。一九二五—一九二七年の革命に於て著しく大きな役割を演じた。今日ソヴェエト革命地方に於ては屢々ソヴェエトとの鬭争に於ける反動の道具となり、爾餘の地方に於てはまた革命的役割を演じてゐる。

黃埔 廣東附近の島。一九二五—一九二七年の支那革命時代に黃埔島に軍政學校(黃埔軍官學校)が設立せられ、それは一九二五—一九二七年の國民革命軍の基本的核心となり、多くの著名な司令官を輩出した。**國民軍** 一九二四年北支に於て反動的軍閥との鬭争の爲に、當時革命的氣分を有した將軍達(馮玉祥其他)に依つて設立せられた第一、二、三國民軍。一九二五—一九二七年の革命には廣東及び武漢政府の革命軍と共同して行動した。武漢の裏切及び革命の一時的敗北の後、普通の軍閥軍に轉化し、間もなく崩壊した。

國民黨 一九一一年の革命に於て主要な役割を演じた所謂「同盟會」の再組織の基礎の上に、一九一二年孫逸仙に依つて組織せられた「中國國民黨」。勝利せる反動に依つて地下へ追ひやられた國民黨は、一九一三年から、戰後時代に支那に民族解放運動が勃興するまで、自己の存在を殆ど中絶した。それは中國共產黨とプロックを結んだ後、一九二五—一九二七年の革命に於て顯著な役割を演じた。ブルジョア民主主義革命のよりの以上の發展と共に所謂右翼國民黨は帝國主義に降伏し、既に一九二七年四月革命を裏切り(蔣介石のクーデター)、共產黨と決裂して、封建的、軍閥的グループ

とプロックを結んだ。左翼の武漢國民黨は一九二七年七月右翼と共に革命を裏切り、支那に於ける帝國主義とブルジョア的・地主的プロックとの支配に奉仕する反革命黨となつた。

黒龍江 滿洲に於ける省、ソヴイェト聯邦及び蒙古人民共和國と境してゐる。

湖南 南支那に於ける省、湖北と境してゐる。ソヴイェト革命と過去に於ける農民運動の、最も發展せる地方。人口約三千三百萬。

湖北 中支那に於ける省(人口約三千萬)、ソヴイェト運動の發展せる地方、一九二五—一九二七年の革命時代には、農民運動が最大の規模を帯びた地方。

湖北・河南・安徽ソヴイェト地區 三省の接合點に存在し、面積約七萬平方斤、人口約五百萬。經濟的に發展した地區。

湖北・湖南ソヴイェト地區 二省の西部に存在し、面積約十萬平方斤。

山海關 奉天省と河北省との境にある都市(要塞)、滿洲から北支那に入る關門。

山西 支那の北西の省(面積十七萬一千六百平方斤、人口一千二百萬以上)。内蒙古及び河北、河南、陝西の

諸省と境してゐる。豊富な石炭産地。

山東 河北、河南、江蘇の諸省と境し、東は黃海に面する北支那の省(面積十四萬五千平方斤、人口約三千五百萬)。日本の勢力範圍。

三民主義 孫逸仙が其の創始者たる社會政治學說。根本原則は民族主義、民權主義及び「民生主義」である。支那資本主義の發展期に生れた三民主義は、形式的には「社會主義」に關する空想的・ナロードニキの標語を宣言しはしたけれども、ブルジョア民主主義の革命的イデオロギーとなつた。それは革命の第一段階に於ては支那の獨立の爲の反帝國主義的闘争の旗となつたが、力の階級的分界過程に於て其の否定的方面もまた益々明瞭に現れ、而して此の否定的方面は、其の後、戴季陶に、反動的國民黨の支配的イデオロギーとなつた既に明かに反動的な理論を發展せしめる可能性を與へた。

四川 西北支那に於ける省(人口約五千萬)。第二次的なソヴイェト地區の存在する地方である。

中國共產黨 一九二〇年に發生した。第一回大會は一九二一年上海で、第二回大會は一九二二年に行はれた。綱領が採用せられ、國民黨への参加が決定せられ

た第三回大會(一九二三年)までは、黨はまだ微力であつた。第四回大會は一九二五年五月に開催せられたが、それは恰も革命の強力な昂揚と一致した。第五回大會(一九二七年四月五月)當時には黨は既に六萬人に成長し、其の中五〇%が労働者であつた。國民黨とのプロック

時代には黨は南支那及び中支那(國民黨の勢力範圍)に於て合法活動を、北支那に於て非合法活動を行つた。一九二七年に於ける革命の一時的敗北の後、黨は全く地下に潛り、未曾有の白色テロルに曝された。現在中國共產黨は労働者階級及び農民の唯一の指導者であつて、大なる權威を有し、思想的な點に於ても、組織的な點に於ても大なる勢力を成してゐる。コミンテルン執行委員會第十三回總會當時、黨は約四十二萬人の黨員を有したが、其の中六萬人は非合法的條件の下にあつた。ソヴイェト支那に於ける政府黨。

中國共產黨第六回大會(一九二八年六月十八日—七月六日)中國共產黨の發展に於て歴史的意義を持つてゐる。一九二五—一九二七年の革命の一時的敗北の後に召集せられた此の大會は、革命の過去の段階を總決算し、二つの戦線に於ける決定的闘争に於ける今後の任務を決定した。右翼日和見主義(陳獨秀主義)の完全な暴露

と並んで、大會は當時現れた「左翼的」暴動主義的氣分に反撃を與へた。大會の最も重要な決議は、一般政策的決議、労働組合運動、農業及び農民問題、ソヴイェト等に關する決議である。

中國共產黨中央委員會八月總會(一九二七年八月七日)黨の發展に於ける轉換點であつた。即ち本總會に於て以前の日和見主義的指導(陳獨秀)が撤廢せられて、農業革命、反動的權力の顛覆及び武装暴動の準備が中心的標語として提起せられた。若干の文書では「中國共產黨八月會議」とも稱せられてゐる。

中國共產黨中央委員會第三回總會 一九三〇年九月李立三の指導に對する闘争の初期に開催せられ、李立三主義に對して妥協的方針を取つた。

中國共產黨中央委員會第四回總會 一九三一年一月開催。第四回總會の歴史的意義は、ソヴイェト運動の廣汎な昂揚の初期に黨内に於て顯著な影響を持つてゐた李立三主義、似而非左翼主義者、半トロツキスト的偏向が決定的に暴露せられたことにある。總會は政治情勢と黨の一般的任務に關する決議、民族會議に反對する檄並に「全黨員へ」及び「紅軍へ」のメッセージを採用した。

沙面事件

一九二五年六月二十三日廣東に於て沙面(黃埔河に依つて廣東と分離せられたイギリスの租界)側からイギリス軍に依つてなされた、労働者及び學生の示威運動に對する發砲。

上海 江蘇省に於ける最大の港、支那の工業的及びプロレタリア的中心地(人口三百萬以上)、支那に於ける帝國主義的支配の城砦。

上海事件 一九二五年五月三十日、イギリス警察の労働者及び學生の示威運動に對する發砲、是は上海の同盟罷業と全支に亘る民族的抗議の爆發を喚起し、廣汎な反帝國主義的闘争の端緒となつた。一九二五—一九二七年の支那革命の發端の日附(五・卅事件)。

上海防衛 一九三二年一月上海のプロレタリアートと第十九路軍の兵士とに依る日本軍に對する上海の英雄的防衛。

重慶 四川省に於ける揚子江畔の都市、商埠地。

蔣介石のクーデター(一九二六年三月二十日) 蔣介石に依つてなされた廣東に於ける反革命的クーデターの試みであつて、中國共產黨及び左翼國民黨員が逮捕罷免せられた。

同上(一九二七年四月十二日) 國民革命軍總司令蔣介石

と全右翼國民黨との裏切。「クーデター」として知られた四月十二日の事件に依つて、上海に於ては労働者民兵の武装解除と銃殺が行はれ、同時に南京に於ては労働者及び共產黨組織の破壊が行はれた。それに次いで汕頭、廣東及び福州に於ても同様な破壊が行はれた。一九二七年四月十八日、南京に、上海ブルジョア階級に依つて(大借款の形態で)直接支持せられた蔣介石を首腦とする新右翼國民黨政府が樹立せられた。

邵武 福建省に於ける都市。

徐州 江蘇省に於ける都市。

徐州會見(馮玉祥と蔣介石との) 一九二七年七月に行はれ、馮玉祥の裏切と蔣介石の反動的徒黨の側への移行を意味した。

小刀會 一九二五—一九二七年の革命に於て顯著な役割を演じた半秘密結社の性質を有する農民組織。

綏遠 北は蒙古人民共和國と境する内蒙古の地域に於ける西北支那の省。

瑞金 江西省に於ける都市、中華ソヴィエト共和國の首都。臨時中央政府の所在地。

綏定 四川省東部の都市。

清鄉 農村から、共產主義者や革命家を「清掃する

こと(逮捕、銃殺)に依つて革命的農民階級と戦はんとする反動的國民黨の闘争形態の一種。

西山派 一九二五年革命的核心から偏向して、「西山(北京附近)に於て其の最初の會議を開いた國民黨の最右翼。

成都 四川省の首都。

青島 山東省に於ける港及び工業中心地、日本の勢力範圍。

青島事件 一九二五年五月二十九日、日本の軍隊に依つて支那の罷業者が射殺せられ、それは上海に於ける五月三十日の事件の直接の動機となり、又一九二五—一九二七年の支那革命の事實上の發端となつた。

青年衛兵 共產青年同盟に依つて創設せられ、紅軍の豫備隊として顯著な役割を演じてゐる、ソヴィエト支那に於ける勞農青年の大衆的、半軍事的組織。

紅軍第四軍 四川省に於て行動した。兵力約十一萬、司令官徐向前。

浙江 中支那に於ける海に沿ふた省。面積九萬四千五百平方呎、人口二千萬以上。江蘇省境の諸縣はソヴィエト權力下にある。

全ソ聯邦共產黨と支那革命 論文や演説に於ける指

導者等の發言及び一九一一年の革命に關するロシヤ社會民主労働黨(ボリシヴィキ)パリ會議(一九二二年)の決議の外に、支那問題は、國際情勢の問題に關する、又トロツキー・ジノヴィエフ反對派に關聯したコミンテルン執行委員會に於ける全ソ聯邦共產黨代表の報告及び報告に關する發言に於て、第十四回、第十五回及び第十六回大會に於て取扱はれた。支那革命の詳細なる分析は、一九二七年八月中央委員會及び中央統制委員會總會に於て採擇せられた國際情勢に關する決議に於て與へられた。決定的な指示は第十五回及び第十六回大會の決議に於て與へられた。

一九一一年の支那革命 帝政を顛覆して共和國を創設したが、支那プロレタリアートの微力と支那ブルジョア階級の上層の裏切との故に、基本的な任務——軍閥支配と封建的抑壓との清算——を解決しなかつた。

川邊(西康) 西藏と境する支那の省(少し前までは四川省の一部であつた)。

ソヴィエト地區第一回會議 一九三〇年五月に開催せられ、從來散在してゐたソヴィエト運動統一への第一歩として巨大な役割を演じた。會議には殆ど一切のソヴィエト地區、紅軍の一部、バルチザン部隊及び國

民黨的支那の革命組織が代表せられた。ソヴェト革命の綱領を初めて廣汎に宣言した其の決議の中で、會議は李立三コースを反映した多くの誤謬を見逃した。

租界の回収 一九二七年一月武漢労働者衛兵に依つて漢口に於けるイギリス租界の回収が暴力的に行はれたが、次いで陳友仁（武漢政府外交部長）とオーマリーとの特殊協定に依つて正式に成立した。此の協定に依つてイギリス租界は武漢國民政府の特別市制の管理に移され、それにはたゞイギリスの代表者が參列しただけである。

第一回全支ソヴェト大會 一九三一年十一月七日瑞金（江西省）に於て開催された。支那のソヴェト革命に於て巨大な役割を演じた大會は、支那共和國中央政府（首席毛澤東）を選出し、憲法、勞働法、土地法、經濟政策に關するテーゼ及び其の他支那ソヴェトの其の後の闘争の綱領となつた多くの決議を採擇した。

第三黨 中國共產黨から除名せられた背教者及び「左翼」國民黨員（譚平山其の他）に依つて國民黨の裏切の後創設せられ、共產黨との闘争及び國民黨との「闘争」を目的とした反革命的組織。ソヴェト支那に於ける國民黨の手先として反革命的役割を演じてゐる。

第十九路軍 國民黨の命令に抗して一九三二年日本の占領に對する上海防衛に參加したことに依つて有名になつた。其の後紅軍との闘争に派遣せられて、重大な敗北を喫し、一部はソヴェト側へ移つた。第十九路軍の幹部は、一九三三年十一月福建で行はれた反蔣クーデターに參加した。

第四次反ソヴェト遠征 國民黨の第四次反ソヴェト遠征は一九三二年三月から五月まで續いた。遠征中に中央ソヴェト地區及び湖北・河南・安徽の省境に擴がつた紅軍に依つて急速に撃破せられた。

第五次反ソヴェト遠征 中華ソヴェトに對する國民黨の第五次遠征は、一九三二年夏から一九三三年春まで續いた。遠征との闘争に於て紅軍は巨大な成功を收め、北支那及び北西支那に於ける新ソヴェト地區の創設に依つてソヴェト地域を擴張し、國民黨軍の犠牲に依つて自己の武装を完全にした。

第六次反ソヴェト遠征 中華ソヴェトに對する國民黨の第六次遠征は、帝國主義者の直接の援助の下に、一九三三年九月に開始せられた。主たる攻撃は中央ソヴェト地區へ向けられ、其處へ約四十五萬人の國民黨の軍隊が集中せられた。

太平革命 外國資本の支那への活潑な侵入時代（十九世紀の五〇—六〇年代）に於ける支那の大農民革命、一八五一年、運動の指導者に依つて宣言せられた新王朝「太平」から其の名稱を得た。滿洲朝の支配と部分的にはヨーロッパ人とに向けられた太平革命は巨大な農民大衆を蹶起せしめ、彼等は一般的な土地再分配を實現した。外國の列強の援助に依る太平革命の鎮壓は、支那のより以上の債務奴隸化と其の半植民地化への最も重要な一歩であつた。

大連 滿洲に於ける大なる港にして商工業中心地。**團匪（義和團）暴動** 一九〇〇年に勃發した支那の農民及び都市貧民の廣汎な反帝國主義運動。團匪（拳匪）といふ名稱は是を指導した秘密結社「大拳」團から生じた。暴動は帝國主義軍隊の引入れと、一切の帝國主義強國に依る支那の廣汎な分割の開始の動機となつた。

團匪賠償金 團匪暴動の時帝國主義者等が蒙つた「損害」の賠償として帝國主義強國に依つて支那に課せられた賠償金（四億五千兩）。**察哈爾** 北は蒙古人民共和國と境し、南は河北省、東西は内蒙古の他の省（熱河と綏遠）と境する北支那

内蒙古の地域に於ける省。面積約二十六萬三千平方呎、人口三百萬以上。東部は日本の勢力範圍及び直接の軍事的占領の範圍。**中央ソヴェト政府** 一九三一年十一月七日第一回全支ソヴェト大會に於て設立せられた。首都江西省瑞金、首席毛澤東。**中央ソヴェト地區** 江西省東部と福建省西部に於て約四十五縣を包括し、面積約十二萬平方呎。紅軍の基本的勢力（約十五萬）の配置せられた地區。中央ソヴェト政府の所在地區。**張勳のクーデター** 一九一七年將軍張勳は北京を一時占領し舊清國皇帝溥儀（現滿洲國皇帝）の王權を復興せしめた。**長沙** 湖南省に於ける商工業中心地、商埠地。一九二五—一九二七年の革命には労働者運動の中心地の一つ。一九三〇年に紅軍の掌中にあつた最大都市の一つ。**直隸派** イギリスに立脚し且民族革命運動に敵對的であつた吳佩孚將軍を盟首に戴いた反動的軍閥。一九二五—一九二七年の革命の準備期に北支那に於て顯著な役割を演じた。

陳獨秀主義

事實上民族ブルジョアに降伏し、一九二五—一九二七年の革命の敗北に對して重大な責任を負つてゐる中國共產黨中央委員會書記長陳獨秀に依つて率ゐられた中國共產黨に於けるメンシエヴィキ的傾向。ソヴェト革命期には陳獨秀派は、トロツキストと結合して、ソヴェトに對する鬭争に於ける反動部隊の一つとなつた。

天津 北支那に於ける大なる港及び工業中心地。

天津事件 一九二六年十一月二十四日、天津に於けるイギリスの軍隊に依る國民黨委員會の破壊と其の委員の逮捕。

東支鐵道 北滿洲に於て、露支協定に基いて一八九六年に建設が開始せられた。ソヴェト聯邦と支那との共同管理の下にある。ソヴェト聯邦に對する無数の挑發の對象。

土豪 地主及び劣紳と結びついた支那農村に於ける反動的社會層。

同盟會 一九〇五年孫逸仙に依つて設立せられた支那に於ける民族革命組織。ブルジョアジー、インテリゲンツィア及び農民階級の民主主義的意向を反映した。一九一一年の革命に於て大なる役割を演じた。一

九一二年國民黨に再組織された。

內蒙古 支那の構成に入つてゐる舊蒙古帝國の一部たる蒙古地域（既に久しく支那の支配を脱してゐる外蒙古とは別）。一九一四年に實施せられた新行政區劃に従へば、熱河、察哈爾及び綏遠の諸省、並に部分的には甘肅（西部）と滿洲（東部）が其の構成に入つてゐる。南京 支那の港、江蘇省の行政的中心地、中華民國の最初の首都、更に一九二七年からは反動的國民政府の所在地。

南京事件 蔣介石の反革命的クーデターの直前、國民革命軍に依つて南京が占領せられた後、一九二七年三月イギリスの艦隊に依つて南京が砲撃せられた事件。

南京政府 蔣介石のクーデターの結果、一九二七年四月十八日樹立せられた國民黨の反革命政府。

南昌暴動 一九二七年八月一日、共產黨員葉挺及び賀龍に依つて率ゐられた國民黨軍の一部隊に依つて、革命を裏切つた國民黨に對して擧げられたもの。南昌暴動を總決算して、中國共產黨第六回大會は次のことを指摘した。即ち其の敗北は客觀的な原因（敵の優勢）の外に、「運動の明瞭な政治綱領の缺如や、農業革命

遂行の不決斷や、農民運動との連絡の缺如及び農民階級の武装の劣弱や、政治權力の舊き機構の武装解除及び其の勤勞者の權力に依る代置や、暴動に關する多くの純軍事的誤謬の中に」表現されたところの指導の誤謬に依つて決定せられた、と。

二十一箇條の對支要求（一九一五年一月十八日宣言された）事實上今日實現せられてゐる支那に對する日本の保護的綱領。當時、日本は其の要求の大部分を北米合衆國の壓迫に依つて放棄することを餘儀なくされた。

熱河 一九一四年內蒙古の地域に設立せられた北支那の省。滿洲と境してゐる。以前にも日本の勢力範圍であつたが、現在は滿洲國の中に含まれてゐる。

農業法 一九三〇年五月第一回ソヴェト會議に於て採擇せられた。是は李立三コースを反映し、土地の即時國有化、沒收せられた地主の土地に於けるソフホーズの實施、コルホーズの創設等を尙早的に宣言した。ソヴェトの最初の農業法の誤謬は、新土地法を採用した全支那第一回ソヴェト大會（一九三二年十一月）に於て修正せられた。

農業法（胡漢民） 胡漢民を議長とする土地委員會に依つて起草せられた草案に基いて、一九三〇年南京政

府に依つて發布せられた「土地法」であつて、農民への極めて些少の讓歩を欺瞞的に約束してゐるだけで、完全に地主の利益を反映してゐる。

農民協會 一九二五—一九二七年の革命期に中國共產黨及び左翼國民黨の指導の下に活動した支那に於ける大衆的農民組織（最初の農民協會は一九二四年廣東省に於て設立せられた）。中國共產黨の日和見主義的指導の故に、農民協會の中には富農も小地主もあり、決定的農業革命の標語は協會に依つて實現せられなかつたけれども、地主及び軍閥との鬭争に貧・中農を組織することが農民協會の任務であつた。農民運動の最大の昂揚期（一九二七年夏）に農民協會は支那の南部及び中部諸省の農民一千万人以上を結合した。

買辦 帝國主義と植民地（支那、印度其の他）との間の商業媒介者、ブルジョアジーの最も反動的な一翼。哈爾濱 北滿洲に於ける都市、工業中心地、東支鐵道の鐵道交叉點。

萬縣 四川省に於ける揚子江畔の都市及び港。（萬縣事件）一九二六年九月五日イギリスの軍艦に砲撃せられ、支那人約三百人が殺され、約三百萬弗の損害を蒙つたが、此の事件は、革命の獲得物に對する帝國主義の

全面的攻撃の合圖となつた。

萬里の長城 支那を遊牧民の襲撃に對して防禦する目的を以て、紀元前數世紀の間に建設せられた北支那を取巻く壘壁（長さ約五千軒）現在は其の大部分が破壊せられてゐる。

苗 南支那に居住する非支那民族及び部族の總稱。

武漢 中支那の三都市——武昌、漢口及び漢陽の總稱。支那最大の商工業的及びプロレタリアの中心地。

一九二七年に於ける革命政府の所在地。

武漢時代 統一國民戦線の崩壊、民族ブルジョアジ

の革命からの離脱（一九二七年四月蔣介石の裏切に依つて印づけられた）及び、農業革命の展開に依つて特徴づけられる支那革命の第二段階。南京に於ける右翼反革命的國民黨に對立する左翼國民黨の民族革命政府が存在した武漢から其の名稱を得た。

武漢政府 革命の地域的基礎の擴大の後、一九二七年一月一日、廣東政府の武漢への移轉の時から樹立せられた國民革命政府。一九二七年四月蔣介石のクーデターの後は、反革命的南京に對立する革命の中心地であつた。一九二七年夏、武漢國民黨の「左翼」指導者の裏切の後、消滅した。

福州 福建省の港、首都。

福建 東南支那の省、人口約一千五百萬。日本と北米合衆國との鬭争舞臺。

福建事件 第十九路軍司令部及び民族改良主義的グループ（第三黨、社會民主主義者）に依つて組織せられた一九三三年十一月の反蔣介石クーデター。

北京（北平） 支那帝國、次いで一九一一年の革命の後には共和國の舊首都、一九二五—一九二七年の革命時代には「北京」反動政府の所在地。國際外交團の所在地。

北京大使館事件 張作霖の徒黨のソグイエト聯邦に對する言語道斷な挑發の一つ——一九二七年四月六日北京のソグイエト大使館への警察の襲撃。其の結果十三人のソグイエト勤務員が逮捕せられ（一箇年半支那の監獄に拘禁せられた）、十九人の共產黨員が處刑せられた。此の襲撃は少くとも二つの目的を追求した。それは一般的憤怒の雰囲気とソグイエト聯邦に對する統一戦線の地盤を作るべき、ソグイエト聯邦の「破壊的」活動の「恐るべき」文書を暴露しなければならなかつた。それは北京政府との軍事的衝突を起し且ソグイエト聯邦を支那との戦争に引き入れねばならなかつた。

周知の如く此の襲撃は失敗した（スターリン、「反對派に就て」、六一頁）。

奉天 一九二八年に遼寧と改稱せられた滿洲に於ける省（及び都市）。

奉天派 滿洲及び北支那に於て支配した張作霖、張宗昌（舊奉天派）、張學良（新奉天派）を首領とする北方軍閥。

北伐 一九二六年七月、北方軍閥及び其の背後に立つ帝國主義者に對して企てられた廣東軍の革命戦争。

香港 南支那の廣東省の海岸に於ける島。一八四一年第一次阿片戦争中イギリス人に占領せられ、次いで一八四二年の條約でイギリスに割讓せられた。最大の貿易港、支那に於けるイギリスの支配の根據地。

香港罷業（一九二五—一九二六年） 二十萬人の香港の海員の極めて大なる罷業と、廣東に依る香港への一般的ボイコット。十八箇月間繼續し、香港を麻痺させた。香港罷業は革命に於ける自己のヘゲモニーの權利を聲明したプロレタリアートの最大の政治的進出と革命の事實上の開始とを印づけた。

滿洲朝 十七世紀（一六四四年）から、帝政を廢止した

一九一一年の革命に至るまで支那に於て支配した、即ち大清朝。最後の皇帝は現在の滿洲國皇帝溥儀。

民族問題 支那に於ける民族問題は、革命に於て顯著な役割を演じたし又演じつゝある非支那民族及び少数民族（蒙古人、回教徒、滿洲人、朝鮮人、苗族、猯々族、苗族其の他）が存在する限りに於て、大なる意義を持つてゐる。近世に於ての最も重要な革命運動は、十九世紀の七〇年代に於ける、西部支那に於ける東千の暴動、同じ時期の南部に於ける回教徒暴動及び太平革命への少数民族の参加であつた。一九二五—一九二七年の革命時代には、南方民族と北西に於ける蒙古人が顯著な役割を演じた。一九二八—一九三一年には甘肅に回教徒暴動が勃發し、また蒙古部族の民族解放運動の強化及び西部に於ける東千の新しい暴動が行はれた。中國共產黨は第六回大會（一九二八年）に於て民族問題に關する特殊な決議を提議し、中央委員會に「第七回大會の爲に支那の少数民族に關する資料を準備し、以て此の問題が第七回大會の議事日程に上せられて黨綱領に入るやうにすること」を提議した。第一回ソグイエト大會は民族問題に關する決議を採擇した。

民國 支那に於ける農民兵部隊、革命的農民及び

ソヴィエトに對する鬭争の爲の地主及び反動勢力の掌中にある道具である。

蒙古人民共和國 嘗つて支那帝國の構成部分であり、帝政ロシアの勢力範圍であつた外蒙古の地域に、一九二一年の人民革命の結果建設せられた。

揚子江 支那の南西の省に居住する非支那部族。

藍衣社 革命運動、中國共產黨及び反對派的な反蔣介石グループに對する鬭争を目的とした蔣介石のファシスト組織。藍衣社の基本的幹部は、封建的・劣紳的士官層、黃埔軍官學校の學生、反動的學生層である。

李立三主義 中國共產黨に於ける似而非左翼的半トロツキト的偏向、李立三に依つて率ゐられ、支那に於けるソヴィエト革命の昂揚期（一九三〇年）に發生した。李立三は、一般的な革命的情勢が存在するといふ誤つた觀念から出發して、全支那的規模に於ける一般的武装暴動と世界プロレタリアートの即時の援助とに安危を賭したが、是は労働者階級の經濟鬭争の完全な忘却と農業革命及びソヴィエト地區の建設に於ける多くの似而非左翼的偏向を決定した。

劣紳 「名士」、大抵地主及び氏族や共同體の土地の

事實上の所有者、屢々官吏。

ワシントン會議 一九二一年十一月十二日から一九二二年二月六日にかけて、九箇國の代表者が參加して開催せられた。會議は北米合衆國に依つて召集せられ、日本の勢力を弱めることを目的とした。會議の結果（九箇國條約）、支那を直接勢力範圍に分割しやうとする日本とイギリスの政策に對抗して、所謂「門戶開放の原則」が支那に於て確認せられた。

(二) 人名

袁世凱（一八五九—一九一六年） 一九一一年の革命の後の中華民國大總統、革命の一切の獲得物を急速に清算した（國民黨の解散令——一九一三年十月二十二日、國會の停止——一九一四年一月四日等）。一九一五年十二月帝政復古に着手したが、北京に對する武装鬭争に前進した到る處に於ける抗議に依つて成功しなかつた。

閻錫山（一八八二年生） 北支那の軍閥、山西省に於ける大地主。一九一一年の革命の參加者、後に山西省政府首席。一九二五—一九二七年の革命の後、國民黨中央委員會及び南京政府軍事委員會の委員。一九二九

一九三〇年には蔣介石に反抗した北方軍閥聯合の指導者の一人。

汪精衛（一八八一年生） 國民黨員、元孫逸仙の最も親しい協力者の一人。一九二七年四月蔣介石のクーデターの後、武漢政府の首席。國民黨の裏切後は最も積極的な反革命家の一人。一九二九—一九三〇年の時代には、南京に反對した「改組派」グループの首領。現在は南京政府員。

何成濬 武漢の軍閥。

夏斗寅 將軍、武漢軍の師長、武漢時代に革命を裏切つた武漢將官團の代表者の一人。

賀龍 以前、未組織の農民運動の指導者の一人、一九二五—一九二七年の革命に於ては國民革命軍の軍團長。國民黨の裏切に對して南昌に於て暴動を起した。此の時代に支那共產黨に加入した。一九二五—一九二七年の革命の敗北の後には、バルチザン部隊の組織者及び指導者、支那紅軍の組織者及び部隊長の一人。西部湖北・湖南ソヴィエト地區に於ける第十一軍長。

許克祥 武漢軍の聯隊（團）長、蔣介石の裏切に次いで行はれた一九二七年五月の長沙（湖南省）に於ける反革命的クーデターの組織者。

瞿秋白（一八九八年生） 共產黨員、一九二〇年入黨。

一九二二年モスクワに於ける極東民族大會に參加した。中國共產黨第三回大會以來其の中央委員會及び政治局の委員。第六回大會の後、コミンテルンに於ける中國共產黨代表。一九二五—一九二七年の革命の後、動搖と混亂を示した。中國共產黨中央委員會第三回總會（一九三〇年）に於て李立三主義に對して和解的立場を取り、第四回總會（一九三二年）に於て中央委員會政治局員から除外せられた。現在中華ソヴィエト共和國中央政府教育人民委員。

項英 中華ソヴィエト共和國中央政府首席代理。元京漢鐵道従業員、京漢鐵道罷業の組織者の一人（當時中國共產黨に加入）。一九二四年以來中國共產黨中央委員會委員。一九二五—一九二七年の革命に於ては労働組合運動の指導者の一人。

黃郛（一八八三年生） 政治家、一九二五—一九二七年の革命前には數回北京政府の大臣であつた。其の後國民黨員（國民黨の裏切の後）。日本の占領時代には南京政府の華北政務委員會の首席。

胡漢民（一八八六年生） 國民黨員、孫逸仙の直弟子、革命的廣東都督。一九二五—一九二七年の革命に於て

は國民黨の右翼の指導者、現在蒋介石の反対派たる國民黨員の廣東グループの指導者。革命の最も鮮明な敵の一人。

胡適(一八九一年生) 政治家、學者、文人。陳獨秀と共に「文化革命」運動の指導者。現在は蒋介石の反対派たる民族改良主義的グループの指導者の一人。

吳佩孚(一八七九年生) 將軍、一九二五—一九二七年の革命の準備期(一九二三年二月七日京漢鐵道罷業の血腥き壓迫)及び其の發展の第一段階に於て、イギリスの奴僕として、革命運動に對する鬭争に於て顯著な役割を演じた北方軍閥の頭目。

蔡和森 中國共產黨の指導者の一人。教師の子、家族と共にフランスに亡命し、其處で労働者であつた。革命的活動の故にフランスから追放せられて(一九二一年)歸國し、中國共產黨に加入した。黨の中央機關紙「嚮導」の主筆。一九二一年以來中央委員會委員。一九二五—一九二七年の革命の指導者の一人、武漢時代には、陳獨秀主義に對して鬭争した中央委員會政治局員。一九二七年以後、國民黨の支那に於て地下運動をなし、一九三一年香港に於て逮捕處刑せられた。

朱德 古參革命家、著名な共產黨員、中國共產黨中

央委員會委員。元苦力、後軍人、一九一一年及び一九二五—一九二七年の革命の積極的な參加者。一九二五—一九二七年の革命の敗北の後、南支那に於けるバルチザン運動の指導者、紅軍の組織者及び指導者の一人。現在中央ソヴェト政府員、陸海軍人民委員、革命軍事委員會議長。

朱培德(一八八八年生) 雲南の將軍、廣東政府が樹立せられた後、國民運動に参加した。國民黨員、北伐に於ける軍團長。蒋介石の裏切の後、武漢の中央部に止まり、彼と共に裏切つた。其の後蒋介石軍の總司令。

蒋介石(一八八六年生) 國民黨の活動家の一人、一九二三年以來其の指導者の一人。一九二五—一九二七年革命に於ては國民革命軍總司令。一九二六年三月二十日廣東に於けるクーデター、及び民族ブルジョアジの革命からの決定的退却を既に意味した一九一七年四月十二日の上海に於ける反革命的クーデターの組織者。現在は支那反動の頭目、軍隊の總司令。

孫逸仙(一八八六—一九二五年) 支那民族革命運動の最も顯著な活動家、國民黨の組織者及び首領。急進的ブルジョア改良家として前世紀の九〇年代に政治活

動を開始した。日清戦争の後、革命的立場に移り、革命的組織「興中會」を設立し、帝政に對する多くのテロリスト行爲及び武装暴動の企圖を組織した。一九〇五年新しい革命的組織「同盟會」を設立し、其の後に是が國民黨に再組織せられた。一九一一年の革命の後、共和國の最初の大總統。一九一一年の革命の失敗の後、戦後の數年間に於ける民族革命運動の新しい昂揚の先頭に立つた。十月革命及び支那に於ける大衆運動の昂揚の影響を受けて、孫逸仙は國民黨を再組織し、共產黨員とプロックを結び、國民黨を統一的な反帝國主義戦線の黨たらしめやうと志した。廣東に於ける南方革命政府の首領。甚しい動搖及び彼の學說に於ける革命に對する民族改良主義的鬭争の要素の存在にも拘らず、孫逸仙は革命家として逝き、革命のより以上の發展及びソヴェト聯邦との友誼の強化に關する遺言を残した。

孫傳芳(一八八五年生) 軍閥、吳佩孚の協力者、一九二五—一九二七年の革命期に於ける民族革命軍に對する軍閥の反動的鬭争の積極的な參加者。

戴季陶(一八八二年生) 最も著名な國民黨の活動家の一人、著書「三民主義の哲學的基礎」及び「民族革

命と國民黨」に於て、階級鬭争の哲學的否認を敘述した國民黨右翼の理論家。一九二七年の革命の一時的敗北の後、反革命の最も積極的な活動家の一人、南京政府考試院長。

譚平山(一八八六年生) 元共產黨員、中央委員會委員及び武漢政府の農業部長、日和見主義者として黨から除名せられた。「第三黨」の組織者。

張勳 將軍、一九一七年の復辟クーデターの組織者。張國燾(一八九五年生) 著名な共產黨員、黨の組織者及び指導者の一人、第一回大會(一九二〇年)以來中央委員會委員、コミンテルンの數次の大會の參加者。労働者運動(一九二三年の京漢鐵道罷業、第二回全支總工會大會等の指導者)及び一九二五—一九二七年の革命の著名な活動家。現在四川ソヴェト地區に於けるソヴェト政府首席、中華ソヴェト共和國中央政府副首席。

張作霖(一八七六—一九二八年) 將軍(元馬賊)、日本の奴僕であり、事實上滿洲及び北支那の支配者であつた。一九二五—一九二七年の革命に對する鬭争に進出した反動的頭目。ソヴェト聯邦に對する一再ならざる挑發の發起人。

張宗昌(一八八一—一九三二年) 軍閥、「舊奉天派」の指導者、一九二七年上海地方に於ける革命軍に對して戦つた山東省北部の軍事總督。

張發奎 將軍、元國民革命の參加者、廣東軍及び武漢軍の一軍長。武漢の裏切の後は廣西軍閥の指導者の一人、「改組派」の軍事的支柱。

陳公博(一八九〇年生) 國民黨員、一九二一年革命の參加者、元共產黨員、既に一九二五—一九二七年の革命前に黨と訣別した。武漢時代には左翼、武漢に於ける國民黨中央委員會政治局員。一九二五—一九二七年の革命の後、民族改良主義の代表者の一人、「改組派」。現在南京政府實業部長。

陳濟棠(一八九一年生) 將軍、廣東陸軍大學卒業、一九二五—一九二七年の革命に於て師長として國民革命軍に參加した。支那ソヴェトに對する一切の國民黨の遠征の參加者、第八國民軍司令官。

陳獨秀(一八七九年生) 元教授、ブルジョア急進主義者、後(一九二〇年以來) 共產黨員。一九二五—一九二七年の革命に於ては、中國共產黨中央委員會書記長として、コミンテルンの指令に反して行動し、自己の半メンシエヴィキの方針を實行した。指導部から除

外せられ(一九二七年八月) 其の後黨からも除名せられて(一九二九年)、トロツキストと結合し、ブルジョアの・地主的反革命の左翼の指導者の一人となつた。

田頌堯 將軍、四川省に於ける國民黨の反ソヴェト遠征の參加者。

鄧演達(一八九一年生) 元左翼國民黨員、一九二五—一九二七年には國民黨中央委員。黄埔軍官學校の指導者の一人、北伐代時には廣東軍政治部長。武漢時代には國民黨中央委員會農長代理。一九二五—一九二七年革命の後には、蔣介石に反對した「第三黨」の指導者の一人。一九三二年蔣介石に處刑せられた。

唐生智(一八八五年生) 將軍、大地主及び資本家。一九二五—一九二七年の革命に於て國民革命軍に參加し、武漢時代には軍隊を指揮した政府員。武漢に於ける反革命的クーデターの發起人の一人。

德王 蒙古王公、錫林郭勒盟(察哈爾省にあり、蒙古人民共和國と境す)の副盟長。日本で高等教育を受けた(譯註、原本の誤)。一九三三年には、日本に依つて鼓舞せられた内蒙古「獨立闘争」の首唱者。

溥儀(一九〇六年生) 一九一一年に顛覆せられた滿洲(大清)朝の最後の皇帝(二歳の嬰兒として君臨し

た)。現在は滿洲國皇帝。

白崇禧(一八九三年生) 將軍、右翼國民黨員、一九二七年四月蔣介石のクーデターの際に於ける彼の政策の直接の遂行者、労働者の示威運動に對して發砲し、上海に於ける労働者軍の武装を解除した。廣東軍閥の指導者の一人。

馮玉祥(一八八〇年生) 將軍、國民軍の組織者及び總司令官、一九二五—一九二七年の革命時代に、北方に於て支那軍閥と闘争した支那に於ける最初の「國民軍」の司令官。廣東及び武漢の革命政府と同盟し、國民黨に加入し、黨と共に反動陣營へ移つた。一九二五—一九二七年の革命の敗北の後には、國民黨の反對派グループの軍事的支柱。勢力範圍は北支那及び内蒙古。

彭述之 元共產黨員、一九二五年から中央委員會委員。陳獨秀の最も近親の協同者、彼と共に中央委員會から除外せられ(一九二七年八月)、後、黨からも除名せられた(一九二九年)。

毛澤東 中國共產黨の組織者の一人、第一回大會以來の中央委員會委員。小學校教師の子、長沙の師範學校を卒業した。一九一九年學生の革命的組織を作り、武漢の軍閥に反對する運動を指導し、革命的日刊新聞

の編輯者であつた。一九二〇年彼の逮捕命令の後、武昌に逃れ、手工業職場で働いた。武漢黨組織の組織者及び湖南省委員會の最初の書記長(一九二三年まで)。中國共產黨の國民黨への參加の後、國民黨中央委員會委員。一九二五—一九二七年の革命の指導者の一人、武漢時代には湖南及び湖北の農民運動の指導者。一九二五—一九二七年の革命の敗北の後には、バルチザン闘争の組織者、紅軍の組織者の一人及び江西並に湖南で行動した紅軍第四軍の最初の黨政治部員。現在は中華ソヴェト共和国中央政府首席。

楊森 四川省西部に於ける軍閥。一九二五—一九二七年の革命に於ては武漢國民政府に形式的に服従し、肩書を得たが、間もなく武漢と闘争を行ひ、革命の公然且直接の敵となつた。四川に於けるソヴェトに對して行動しつゝある軍閥の一人。

葉挺(一八九五年生) 共產主義者、軍人、廣東革命軍の司令官の一人、北伐の參加者。蔣介石及び武漢中央部の裏切の後、一九二七年八月一日賀龍と共に南昌に於て暴動を起し、自己の部隊を油頭へ引率した。廣東コムニエーションの參加者。

劉湘(一八九〇年生) 四川軍閥、四川省に於ける國

民黨的反動の主要人物の一人、四川ソヴェト地區に對する鬭争の指導者。

羅章龍 一九二五—一九二七年の革命の準備期に北京大學の學生として中國共產黨に加入した舊共產黨員（出身は富農の子）。京漢鐵道に於て勞働組合活動に従事した。第一回總工會大會の組織者の一人。武漢時代には陳獨秀に對して和解的立場を取り、陳獨秀が指導部から退けられた後もまた此の方針を續けた（中國共產黨第六回大會に於て、陳獨秀を中央委員會に入れることを提議した二人の代議員の中の一人）。ソヴェト革命時代には明かに日和見主義的立場を取り、黨の一般の方針に對する攻撃の爲に李立三主義の誤謬を利用した。黨から除名された（一九三一年）後、公然たる反革命的陣營へ移行した。

劉文輝 四川軍閥。

劉和鼎 江西省に於ける南京軍の師長、中央ソヴェト地區に對する第六次遠征の參加者。

李大釗 共產黨員、黨の創立者及び指導者の一人、黨中央委員會委員及び北支那に於ける中國共產黨組織の指導者。一九二七年四月、北京に於けるソヴェト大使館襲撃の後逮捕せられた他の共產主義者と共に、

張作霖に虐殺された。

李立三（一八九八年生） 共產黨員、勞働運動及び一九二五—一九二七年の革命の顯著な活動家の一人（一九二二年萍鄉に於ける坑夫組合長、一九二五年に於ける上海罷業の指導者その他）、中國共產黨中央委員會政治局員及び全支那總工會長であつた。ソヴェト運動の初期（一九三〇年）に大なる半トロツキスト的誤謬を犯した（李立三主義の項參照）。

終